

C2-1 事業報告等の提出

本マニュアルは、Windows10、Internet Explorer11、Microsoft Excel（Office 2016）を使用した操作の説明です。

手続を選択します。

電子申請
システム

1. 「申請・届出を行う」
2. 「事業報告等の提出」

電子申請が可能な手続の中から、C2-1事業報告等の提出を選択します。

様式を入手します。

電子申請
システム

お手元のPC

3. 「案件詳細」
- 4～7. 既存データ流用・オフライン様式のダウンロード
- 8～9. zipファイルからオフライン様式を取り出す

新システムでは、御自分のPCで申請書の様式を作成しアップロードする方法になりました。
手続に必要な様式を入手し、編集可能な状態にします。

様式に記入します。

お手元のPC

- 10～41. オフライン様式に記入する
42. オフライン様式の記入（修正）を保存する

様式の記入方法と注意点を紹介します。

様式をアップロード・
様式チェックをします。

電子申請
システム

- 43～48. オフライン様式をアップロードする
- 49～51. 様式チェックを依頼する

記入が終わった様式をシステムにアップロードする方法と、新システムに様式チェックを依頼する操作を紹介します。
様式チェックが「NGなし」で終了すると、申請が可能となります。

申請書類を提出します。

電子申請
システム

- 52～55. 申請書類を提出する

C2-1 事業報告等の提出

【版数履歴】

- ・ Ver. 2019-04-22-01 初版
- ・ Ver. 2019-04-23-01 2 版 : P36項番39中、10欄のコメント→8 欄のコメントに修正
- ・ Ver. 2019-05-22-01 3 版 : P31タイトル中、「C(4)」→「C(5)」に修正。同頁項番34タイトル中、「(15)」→「(25)」に修正。
P25項番28中、「様式チェックNG(エラー)の例」を追加。
P19項番22中、右欄画像のタイトルを「[収 益] C2-1レイアウト3-2(2).docx」→「[その他] C2-1
レイアウト3-2(3).docx」に修正。
- ・ Ver. 2019-08-05-01 4 版 : P9の役員等名簿の説明に、フリガナ欄を全角フリガナで記入、郵便番号欄を半角数字7ケタで記入、
の旨追加。海外居住者について都道府県欄を「海外」と記入の旨修正。追加。

【システム利用環境等について】

- ・ 本システムは、「Windows10」又は「Windows7」で動作確認をしております。
- ・ 利用可能なブラウザは、「Internet Explorer11」又は「Google chrome」です。
- ・ オフライン様式の編集に使用する「Microsoft Office」については、Microsoft社のサポートが有効なものに限ります。
Office2007(※)につきましては2019年4月時点でサポートが終了していますので、御利用の方はアップグレードをお願いいたします。
※当システムの機能のうち、一括PDF機能などが正常に御利用いただけません。

【オフライン様式のセルの色について】

本システムで使用するオフライン様式（エクセル）では、以下の色分けで記入の可否を区別しています。

- 緑色セル■ : 必須入力です。作成を選択したシートに緑色のセルが残っていると、様式チェックでNG（エラー）となります。
- 水色セル■ : 任意入力です。
- 黄色セル■ : 記入不可のセルです。数式が入っており、他のセル・シートに記入された値を参照して表示します。
- 白色セル□ : 記入不可のセルです。様式チェックで「NGなし」となったら、システムが他のファイルから値を記入します。

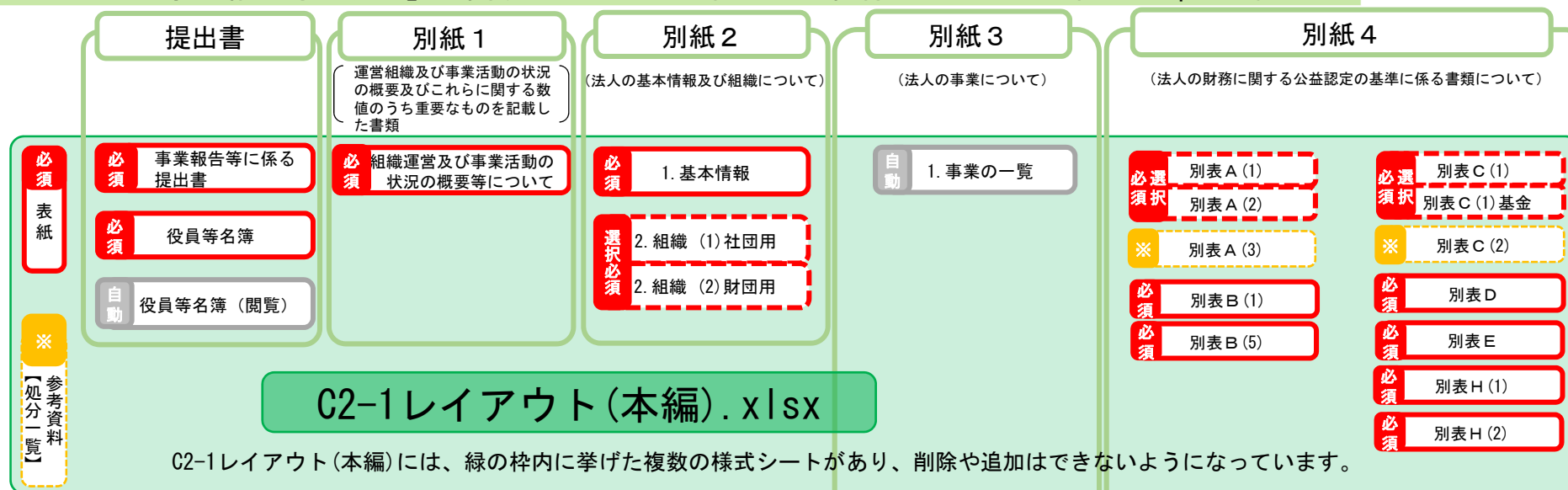
【システムに関する問合せ窓口について】

内閣府公益認定等委員会事務局総務課（システム担当）

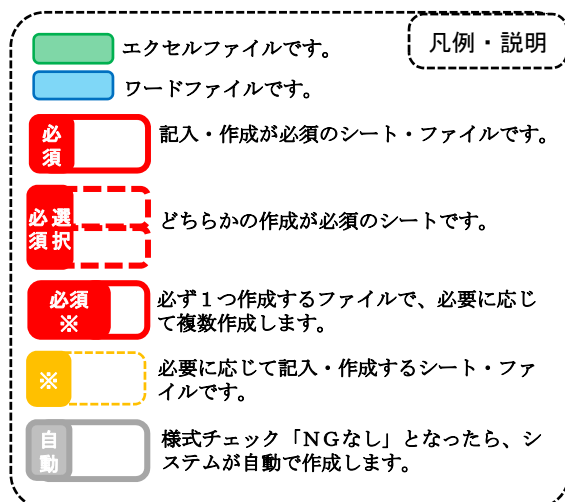
受付時間 平日 9：00～12：00、13：00～17：30

電話番号 03-5403-9587、9527、9529

C2-1 「事業報告等の提出」に関するオフライン様式の全体像（オフライン様式.zipの内訳）



C2-1レイアウト(本編)の緑枠の外は、
本編に含まれない**別ファイル**です。

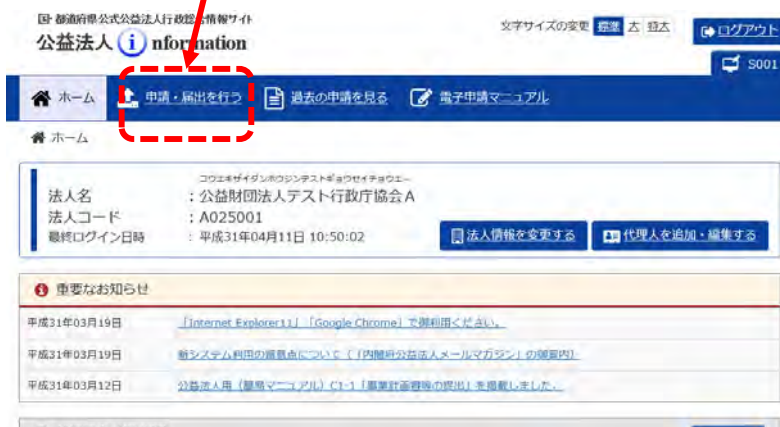


C2-1 事業報告等の提出

電子申請
システム

1. 「申請・届出を行う」

【操作】電子申請システムにログインした後、「ホーム」ページで「申請・届出を行う」をクリックしてください。



電子申請
システム

2. 「事業報告等の提出」

【操作】「申請・届出手続一覧」画面に移りますので、2 ページ目の
手続No. C2-1の「事業報告等の提出」をクリックしてください。



C2-1 事業報告等の提出

電子申請
システム

3. 「案件詳細」

【操作】「案件詳細」画面に移りますので、過去の手続内容を利用して申請書を作成する場合は、「既存データを流用」をクリックします。

公益法人 i nformation

文字サイズの変更 拡大 縮小 ログアウト S009

ホーム 申請・届出を行う 過去の申請を見る 電子申請マニュアル

ホーム > 申請・届出手続一覧 > 案件詳細

案件詳細

申請案件の状況を確認します。
データ流用を行う場合は、「既存データを流用」ボタンより行ってください。
オフライン様式をダウンロードするには、「オフライン様式をダウンロード」ボタンより行ってください。

整理番号	
手続No.	C2-1
手続名称	事業報告等の提出
提出先行政庁	内閣府（テスト行政庁）

現在の処理状況は、書類作成中 です。

処理状況（日時）	1 書類作成中	2 印刷	3 審議中	4 完了
	2021/04/11 12:23:59			

様式チェック状況 様式チェックの依頼を行うと、様式チェックの状況が表示されます。

既存データ流用	作成する場合は「既存データを流用」ボタンを押してください。
一括PDF作成	作成する場合は「申請書類一式をPDFで出力」ボタンを押してください。
申請書類	オフライン様式をダウンロード

ホームに戻る 既存データを流用 オフライン様式をダウンロード

（参考）未記入の申請書入手したい場合は、「オフライン様式をダウンロード」をクリックします。

電子申請
システム

4. 既存データ流用元の手続の選択

【操作】流用元の手続を選択するウィンドウが現れますので、整理番号欄の左の○に「・」を付けて、「選択」をクリックします。
既に表示されている手続以外の手続を検索したいときは、このウィンドウの上半分に、検索キーを入力して「検索」をクリックしてください。

公益法人 i nformation

ホーム 申請・届出を行う 過去の申請を見る 電子申請マニュアル

ホーム > 案件詳細

案件詳細

申請案件の状況を確認します。
データ流用を行う場合は、「既存データを流用」ボタンより行ってください。
オフライン様式をダウンロードするには、「オフライン様式をダウンロード」ボタンより行ってください。

既存データ流用

整理番号、手続名称、申請日時を入れてください

整理番号

手続名称

申請日時(From) 年 月 日

申請日時(To) 年 月 日

検索

整理番号	手続名称	申請日時
1900112435	事業報告等の提出	平成31年04月16日 7:54:59

選択 閉じる

C2-1 事業報告等の提出

電子申請
システム

5. システムで既存データを流用中

【確認】「既存データ流用」欄のコメントが「**様式ファイル（既存データ流用）作成中...**」となります。

【注意】既存データ流用は、**数分で終了しますが、コメントは自動的に変わりません。数分後に「作成状況を更新」をクリックして、コメントを変えてください。**

案件詳細

申請案件の状況を確認します。
データ流用を行う場合は、「既存データを流用」ボタンより行ってください。 [操作説明](#)
オフライン様式をダウンロードするには、「オフライン様式をダウンロード」ボタンより行ってください。
書類の保存もしくは様式チェックを行う場合は、「書類を準備する」ボタンより行ってください。

整理番号	
手続No.	C2-1
手続名称	事業報告等の提出
提出先行政庁	内閣府（テスト行政庁）

現在の処理状況は、書類作成中 です。

処理状況（日時）	1 書類作成中 平成31年04月16日 17:52:27	2 到達	3 審査中	4 完了
----------	---------------------------------	------	-------	------

様式チェック状況	様式チェックの依頼を行うと、様式チェックの状況が表示されます。		
既存データ流用	様式ファイル（既存データ流用）作成中... 作成状況を更新		
一括PDF作成	操作説明	作成する場合は「申請書類一式をPDFで出力」ボタンを押してください。 申請書類一式をPDFで出力	
申請書類	一括ダウンロード		

電子申請
システム

6. オフライン様式のダウンロード(1)

【操作】「既存データ流用」欄のコメントが「**オフライン様式.zip**」に変化したら、「**オフライン様式.zip**」をクリックします。

データ流用を行う場合は、「既存データを流用」ボタンより行ってください。 [操作説明](#)
オフライン様式をダウンロードするには、「オフライン様式をダウンロード」ボタンより行ってください。
書類の保存もしくは様式チェックを行う場合は、「書類を準備する」ボタンより行ってください。

整理番号	
手続No.	C2-1
手続名称	事業報告等の提出
提出先行政庁	内閣府（テスト行政庁）

現在の処理状況は、書類作成中 です。

処理状況（日時）	1 書類作成中 平成31年04月16日 17:52:27	2 到達	3 審査中	4 完了
----------	---------------------------------	------	-------	------

様式チェック状況	様式チェックの依頼を行うと、様式チェックの状況が表示されます。		
既存データ流用	20190416175805_オフライン様式.zip		
一括PDF作成	操作説明	作成する場合は「申請書類一式をPDFで出力」ボタンを押してください。 申請書類一式をPDFで出力	
申請書類	一括ダウンロード		

[前画面に戻る](#) [既存データを流用](#) [オフライン様式をダウンロード](#) [書類を準備する](#)

【操作】画面の下方にファイルの保存の問合せのメッセージウィンドウが現れますので、「保存」の右の「▼」をクリックします。

a.msp.securewep.jp から 20190416175805_オフライン様式.zip (598 KB) を開くか、または保存します?

[ファイルを開く\(O\)](#) [保存\(S\)](#) ▼ [キャンセル\(C\)](#)

【操作】出現したメニューのうち「名前を付けて保存(A)」をクリックします。

[前画面に戻る](#) [既存データを流用](#) [オフライン様式をダウンロード](#) [書類を準備する](#)

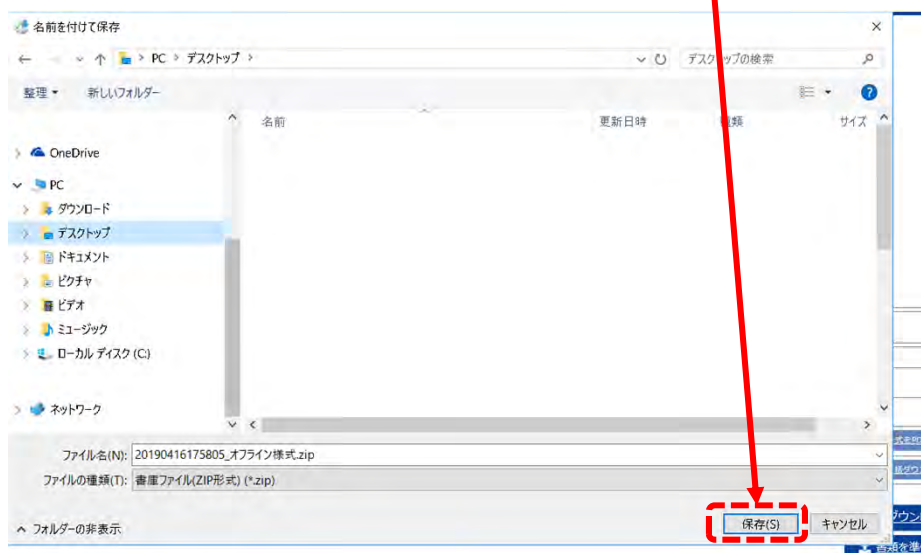
[ファイルを開く\(O\)](#) [保存\(S\)](#) ▼ [名前を付けて保存\(A\)](#) [保存して開く\(O\)](#)

C2-1 事業報告等の提出

電子申請
システム

7. オフライン様式のダウンロード(2)

【操作】保存先を選択するウィンドウが開きますので、デスクトップなど作業がしやすい・わかりやすい場所を選んで、「保存」をクリックしてください。
ダウンロード完了のメッセージが現れます。



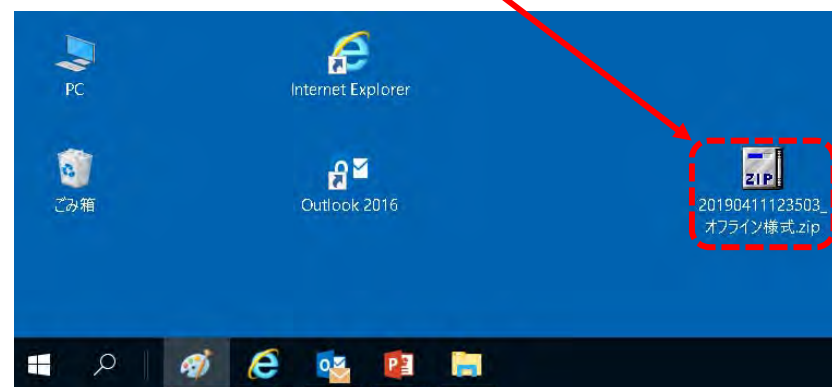
【確認】ダウンロード完了のメッセージが現れます。



お手元
のPC

8. zipファイルからオフライン様式を取り出す(1)

【操作】電子申請システムにログインしているブラウザを最小化して、7で選んだ保存場所（デスクトップなど）にzipファイルがあることを確認し、このzipファイルをダブルクリックしてください。

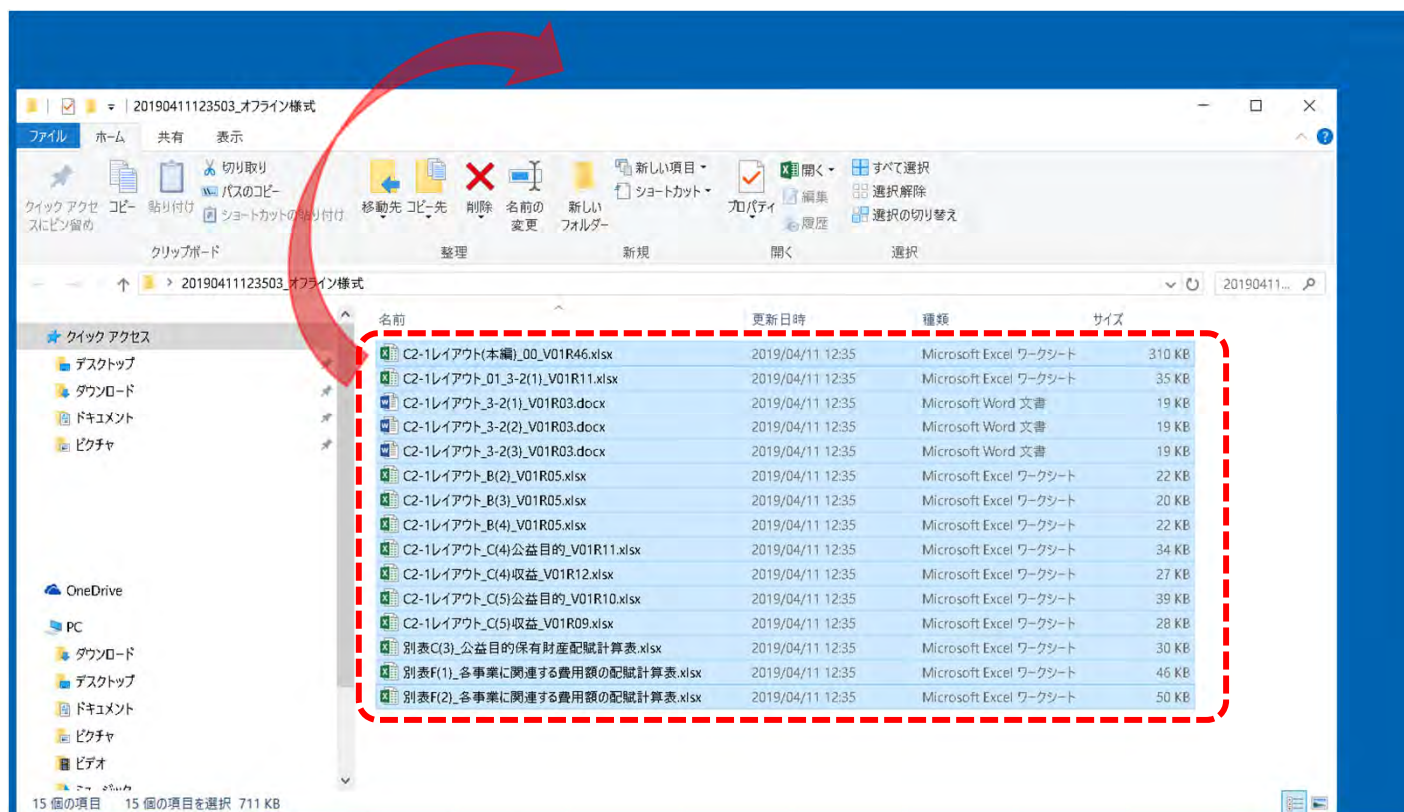


C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

9. zipファイルからオフライン様式を取り出す(2)

【操作】zipファイルが開きますので、中に入っているファイルをデスクトップなど作業がしやすい場所にコピーしてください。
※ファイルの上で、マウスの左ボタンを押しながら、デスクトップまで移動させてコピーすることもできます。



【注意】zipファイルに格納されたままのファイルは、上書き保存ができません。
お手元のPCにエクセル・ワードファイルを取り出し（コピーし）て作業をしてください。

【確認】ファイルの構成については、1 ページ目の「C2-1 「事業報告等の提出」に関するオフライン様式の全体像（オフライン様式.zipの内訳）」を御覧ください。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

10. オフライン様式に記入する(1)

表紙

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「表紙」)

必須

元号はメニューから選択し、年数は半角数字で記入してください。

事業年度	平成	30	年度
	自	平成30年4月1日	
	至	平成31年3月31日	

【入力書式】
西暦/月/日を、半角数字で「yyyy/mm/dd」の書式で入力してください。
↓
和暦表示になります。

申請事務担当者	氏名	公益 次郎
	電話番号	0011-222-3333
	電子メールアドレス	jimu@koueki.or.jp

右欄へ

電話番号・電子メールアドレスとも、半角英数字で記入してください。

必要に応じて作成する書類です。それぞれの欄に作成した書類の数を半角数字で記入してください。ただし、「公益認定事業の数」は、**ワード・エクセルの1セットを1つ**と数えます。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	内容
電話番号	A00200	半角数字のところ全角で入力
公益認定事業の数	C00140	ワード・エクセルファイルのセットで1事業のところファイル数を別々にカウント

左欄から

選択必須の書類です。それぞれ作成した書類の欄で「○」を選択してください。

○事前入力項目

作成を行った側の表を選択してください。

別表A 収支相償の計算 (作成する様式側の「○」を選択してください。)	別表A (1) (収益事業等の利益額の50%を繰入れる場合) 別表A (2) (収益事業等の利益額の50%超を繰入れる場合)	○
別表C(1) 遊休財産額の保有制限の判定 (作成する様式側の「○」を選択してください。)	別表C (1) 別表C (1) (※一般社団法人法第131条の基金がある場合)	○
別紙2 2. 組織 (作成する様式側の「○」を選択してください。)	別紙2 2. (1) 社団用 別紙2 2. (2) 財団用	○

作成した様式の数を入力してください。

公益認定事業の数(別ファイル:3-2(1)(ワード+エクセル))	1
収益事業の数(別ファイル:3-2(2)(ワード))	1
その他事業の数(別ファイル:3-2(3)(ワード))	0
土地の使用に係る費用額の算定(別ファイル:B(2)(エクセル))	0
融資にかかる費用額の算定(別ファイル:B(3)(エクセル))	0
無償の役務の提供に係る費用額の算定(別ファイル:B(4)(エクセル))	0
資産取得資金の数(公益のみ)(別ファイル:C(4)公益(エクセル))	1
資産取得資金の数(公益以外)(別ファイル:C(4)収益(エクセル))	0
特定費用準備資金の数(公益のみ)(別ファイル:C(5)公益(エクセル))	1
特定費用準備資金の数(公益以外)(別ファイル:C(5)収益(エクセル))	0

以下の様式のうち必要に応じて作成したものを選択してください。

A (3)	○
C (2)	○

該当がない場合には「0」を入力してください。

該当する場合は「○」を選択してください。該当しない場合は空欄のままにしてください。

必要に応じて作成する書類(シート)です。作成する場合は、それぞれ書類の欄で「○」を選択してください。

C2-1 事業報告等の提出

お手元のPC

11. オフライン様式に記入する(2)

事業報告等に係る提出書

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「事業報告等に係る提出書」)

必須

※必須入力項目（緑色網掛け）に未入力箇所があります。

内閣総理大臣
安倍 晋三 殿

申請日
平成31年4月15日

法人の名称
公益財団法人テスト行政庁協会A

代表者の氏名
内閣府 一郎

事業報告等に係る提出書

下記に掲げる財産目録等について、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定により、提出します。

記

1. 財産目録

2. 役員等名簿

3. 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類

4. 社員名簿

5. 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第129条第1項（同法第199条において準用する場合を含む。）に規定する計算書類等

6. キャッシュ・フロー計算書

7. 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則 第28条第1項第2号に掲げる書類

【必須入力】申請日は、必ず入力してください。

申請日を入力してください。
【入力書式】
西暦/月/日を、半角数字で「yyyy/mm/dd」の書式で入力してください。
↓
和暦表示になります。

【必須入力】キャッシュフロー計算書の有無を必ず選択してください。

事項	エラーコード	具体的な状況
申請日	A00100	未記入のままアップロード

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

12. オフライン様式に記入する(3)

役員等名簿

必須

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「役員等名簿」)

【必須入力】入力する行については、全項目を入力してください。

「郵便番号」は半角数字7ケタで、「-」を入れずに入力してください。

1. 評議員(公益財団法人の場合のみ)

フリガナ(姓/名)	氏名(姓/名)	常勤 非常勤	郵便番号	都道府県	住所 市区町村丁目番地等
コウエキ	タロウ	非常勤	100-0001	東京都	港区虎ノ門...
イイン	イチロウ	非常勤	100-0001	東京都	港区虎ノ門...
ニンディ	ゴロウ	非常勤	100-0001	東京都	港区虎ノ門...

「フリガナ」は全角カタカナで入力してください。

2. 理事

代表理事は、その者の「代表理事」の欄に「レ」を記載してください。

フリガナ(姓/名)	氏名(姓/名)	常勤 非常勤	郵便番号	都道府県	住所 市区町村丁目番地等	代表 理事
スミシー	アラン	非常勤	000		アメリカ合衆国〇〇...	
コウエキ	ハナコ	非常勤	100-0001	東京都	港区虎ノ門...	レ
コウエキ	タロウ	非常勤	100-0001	東京都	港区虎ノ門...	
トラノモン	ヨシオ	非常勤	100-0001	東京都	港区虎ノ門...	
イイン	シロウ	非常勤	100-0001	東京都	港区虎ノ門...	

3. 監事

フリガナ(姓/名)	氏名(姓/名)	常勤 非常勤	郵便番号	都道府県	住所 市区町村丁目番地等
サクラダ	ドオリ	非常勤	100-0001	東京都	港区虎ノ門...

国外に居住の場合は、「郵便番号」欄は半角数字「0」を記入し、「都道府県」欄は「海外」と入力してください。

旧姓を併記する場合は「氏名(姓/名)」欄の姓にカッコ書きで旧姓を記載してください。「フリガナ」欄の姓は現在の姓だけとしてください。

【行追加・行削除に当たってのご注意】
1.各表の記載欄の第1行目を削除しないでください。また、第1行目をコピー元としないでください。
2.行を追加する場合、第2行目をコピー元として、2行目以降において「コピーしたセルを挿入(E)」を行ってください。(電子申請マニュアル1-63ページ参照)(以下同じ。)

自動

役員等名簿 (閲覧用)

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「役員等名簿 (閲覧用)」)

本シートは、様式チェック「NGなし」となったら、システムが自動で作成しますので記入は不要です。元となるデータは「役員等名簿」です。

事業 年度	自	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	法人名	公益財団法人デスト行政庁協会A

役員等名簿

1. 評議員(公益財団法人の場合のみ)

フリガナ(姓/名)	氏名(姓/名)	常勤 非常勤

2. 理事

代表理事は、その者の「代表理事」の欄に「レ」を記載してください。

フリガナ(姓/名)	氏名(姓/名)	常勤 非常勤	代表 理事

3. 監事

フリガナ(姓/名)	氏名(姓/名)	常勤 非常勤

本シートは、システムで自動転記しますので、記載は不要です。
《前シート「役員等名簿」を参考にし、
「様式チェック(NGなし)」となった時点で、システムが自動転記します。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	具体的な状況
(各項目)	A00100	同行の他の項目に記入があるが、空欄の項目がある。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

13. オフライン様式に記入する(4)

【操作説明】 行を増やす場合の操作

- ① 表の2行目(以降)を指定しコピーします。
【操作】 エクセルの行番号部分を左クリックした後、
 右クリックでメニューが現れます。
 「コピー」を選択します。

該当の行(コピー元の行)が、緑色の点線で囲われます。

- ② 表の2行目(以降)を指定し挿入します。
【操作】 エクセルの行番号部分を左クリックした後、
 右クリックでメニューが現れます。
 「コピーしたセルの挿入」を選択します。

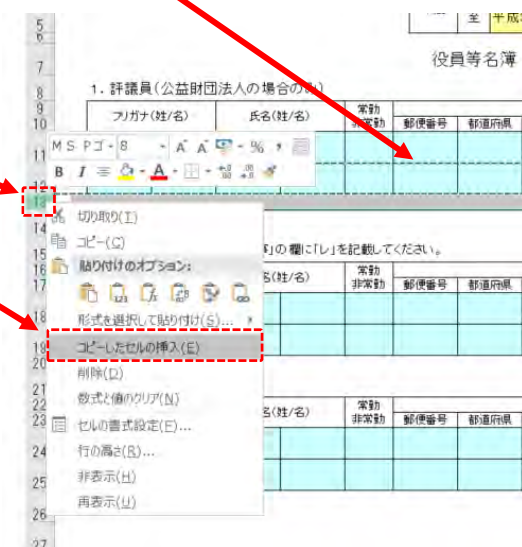
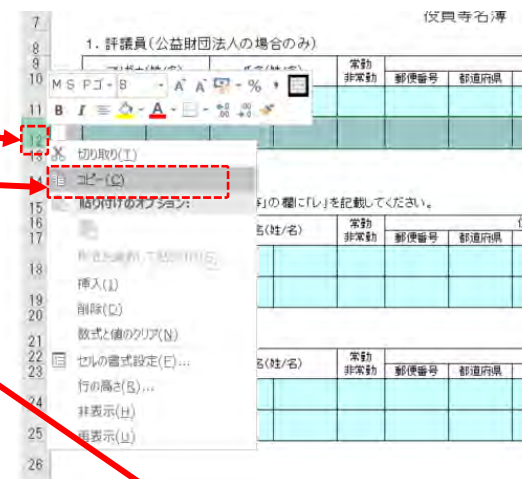
- ③ ②で指定した行に、コピー元の行と同じ行が増えます。

役員等名簿

1. 評議員(公益財団法人の場合のみ)						
フリガナ(姓/名)	氏名(姓/名)	常勤 非常勤	郵便番号	都道府県	住所 市区町村丁目番地等	

2. 理事
 代表理事は、その名の「代表理事」の欄に「レ」を記載してください。

【行追加・行削除に当たってのご注意】
 1. 各表の記載欄の第1行目を削除しないでください。
 2. 行を追加する場合は、第2行目をコピー元として、2行目以降において「コピーしたセル」



C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

14. オフライン様式に記入する(5)

別紙1 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類（「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「別紙1」）

(その1)

必須

[目次に戻る](#)

※入力項目(ピンク網掛け)に誤りがあります。

【別紙1:公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第28条第1項第2号に掲げる書類】

事業年度	自 平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至 平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト行政庁協会A

運営組織及び事業活動の状況の概要等について

1. 法人の基本情報について

法人の名称	公益財団法人テスト行政庁協会A		
設立登記日(注)	平成27年4月1日		
法人の目的	公益認定制度の普及・啓発を行う団体に対する支援を実施する。		
主たる事務所の 所在地	都道府県	市区町村番地等	
	東京都	港区虎ノ門3-5-1	
社員の資格の 得喪の条件 (公益社団法人のみ)			
社員の数(公益社団法人のみ)	人		

注 旧民法に基づき設立された法人にあっては、新制度への移行登記した日付になります。

事業報告等に係る提出書に記載した名称と異なる場合には、直接記載してください。

右欄へ

新年度当初に名称変更をした場合など、報告対象年度の法人名称(旧)と、提出書に記載の法人名称(新)が異なる場合があります。報告対象年度の法人名称を記載してください。

左欄から

2. 事業活動等について

(1) 収支相償

収益事業等から生じた利益の繰入割合	50%	収入の額	費用の額
第2段階の合計		2,582,663 円	50,090,256 円
収入>費用の場合の対応		A(1)「収支相償がプラスとなる場合の剰余金の取扱」から転記されます。	

A(1) 13欄又はA(2) 16欄から転記されます。

(2) 公益目的事業比率

公益目的事業比率 (①の額÷①の額+②の額の合計額)	61.7%
① 公益実施費用額	40,889,518 円
② 収益等実施費用額	0 円
③ 管理運営費用額	9,141,738 円

B(1) 1 欄、23 欄、33 欄から転記されます。

(3) 寄附を受けた財産の額

寄附を受けた財産の額	0 円	うち個人から	0 円
		うち法人から	

H(2)「1. 寄附を受けた財産」(1)(2)の合計が転記されます。注意: 右欄「うち個人から」と「うち法人から」の合計額と相違すると、セル色が桃色になります。

(4) 金融資産の運用収入の額

金融資産の運用収入の額	0 円
-------------	-----

(5) 資産、負債及び正味財産の額

資産額	218,646,600 円	負債額	3,485,433 円
		正味財産額	215,161,167 円

C(1) 5 欄、又はC(1) 基金 5 欄から転記されます。

C(1) 11 欄、15 欄、又はC(1) 基金 11 欄、15 欄から転記されます。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

15. オフライン様式に記入する(6)

別紙1 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち
重要なものを記載した書類（「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「別紙1」）

(その2)

必須

(6) 遊休財産額

遊休財産額の保有上限額	40,888,518 円
遊休財産額	94,672,355 円

C(1)40欄、41欄、又はC(1)基金40
欄、41欄から転記されます。

(7) 当事業年度の末日における公益目的取得財産残額

公益目的取得財産残額(①欄+②欄の合計額)	△ 52,777,839 円
① 公益目的増減差額	△ 143,783,653 円
② 公益目的保有財産の帳簿価額の合計額	91,005,814 円

H(1)24欄、1欄、21欄、又は
C(1)基金24欄、1欄、21欄から
転記されます。

(8) 理事、監事及び評議員の報酬等の額

理事等の報酬等の総額	85,000 円
(うち、退職手当の額)	0 円

(9) 事業の運営に関する行政庁からの勧告又は命令の有無

当事業年度の勧告又は命令の有無(注)	無
--------------------	---

注 当事業年度以前に受けた勧告又は命令であって、行政庁に改善の報告をしていないものを含みます。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	具体的な状況
—		

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

16. オフライン様式に記入する(7)

別紙2 法人の基本情報及び組織について

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「別紙2」)

必須

【別紙2 法人の基本情報及び組織について】

事業 年度	自	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト行政庁協会

本シートでは、報告対象の年度(旧年度)の状況を記載してください。

1. 基本情報

フリガナ	コウエキザイダンホウジンカイセンドウ			
法人の名称	公益財団法人テスト行政庁協会A			
主たる事務所の住所及び連絡先				
住所	郵便番号	都道府県名	市区町村丁目番地等	補足住所
	106-0001	東京都	港区虎ノ門3-5-1	第37森ビル12F
代表電話番号	03-5403-9555	内線		FAX番号
代表電子メールアドレス	jimu@koueki.or.jp			
ホームページの有無	有			
ホームページアドレス	https://www.koueki-info.or.jp/			
代表者の氏名	内閣府 一即			
事業年度	04 月 01 日～ 03 月 31 日			
事業の概要	公益認定制度の普及・契約を行う団体への支援を行う。			

コメントのとおり、報告対象事業年度の法人の名称、代表者の氏名を記載してください。
※新年度に名称等が変わった場合はご注意ください。

事業報告等に係る提出書に記載した名称と異なる場合(※)には、直接記載してください。
※新年度当初から本報告までの間に法人の名称が変更になった場合であっても、報告対象の年度(旧年度)の名称を記載してください。

事業報告等に係る提出書に記載した代表者と異なる場合(※)には、直接記載してください。
※新年度当初から本報告までの間に代表者が変更になった場合であっても、報告対象の年度(旧年度)の代表者の氏名を記載してください。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	具体的な状況
—		

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

17. オフライン様式に記入する(8)

別紙2. 2 組織(社団)
(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「2-2(社団)」)

必須
選択

公益財団法人は
作成不要です。

2. 組織

(1) 社員について

社員の数	20人
(代議員制を採用している場合) 社員(代議員)を選出する会員の数(注1)	人
社員の資格の授与に関する定款の条項(注2)	第30条
法人の目的、事業内容に照らして当該条項が合理的な関連性及び必要性があることについて	
社員の議決権に関する定款の条項	第31条
社員の議決権に關して当該条項により社員ごとに異なる取扱いをしている場合、法人の目的に照らして不当に差別的な取扱いをしないものであることについて	

(2) 理事及び監事について

	常勤	非常勤	計
理事の数	人	人	人
監事の数	0人	人	人

(3) 会計監査人について

会計監査人設置の有無	会計監査人の氏名又は名称
有	
無	

該当する者がいない場合は、半角数字「0」を入力してください。

左欄から

(4) 会員等について(注3)

会員等区分の名称	会員の数
	人
	人

(5) 職員について

職員の数	人	うち常勤	人
------	---	------	---

(6) 社員総会等の開催状況について

	開催年月日	主な決議事項等
社員総会		
社員総会		
理事会		
理事会		

- 注1 定款において、資格を有する者(会員)の中から社員(代議員)を選出する規定を設けている法人については、当該会員の数を記載してください。
- 注2 定款のほかに、社員の資格の授与に関する細則を定めている場合には、添付してください。
- 注3 定款において会員等を置く旨が定められている場合、定款のほかに会員等の位置づけ及び会費に関する細則を定めているときは、これらの細則を添付するとともに、本欄に会員等の区分ごとの数を記載してください。

●行を増やす場合
行を増やす場合は、「13. オフライン様式に記入する(4)」の手順で実施してください。

【行追加・行削除に当たっての注意】
1. 各表の記載欄の第1行目を削除しないでください。また、第1行目をコピー元としないでください。
2. 行を追加する場合、第2行目をコピー元として、2行目以降において「コピーしたセルを挿入(E)」を行ってください。(電子申請マニュアル1-83ページ参照)

西暦で入力し、表示が和暦になることを確認してください。
※西暦表示のままの場合、左ダブルクリック→キーボードの「Enter」キーを押すと表示が和暦に変換される場合があります。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	具体的な状況
理事の数、監事の数	A00100	空欄のままとなっている。
社員総会等の開催年月日	A00500	既存データ流用時に西暦のままとなっている。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

18. オフライン様式に記入する(9)

別紙2. 2 組織(財団)
(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「2-2(財団)」)

必須
選択

公益社団法人は
作成不要です。

2. 組織

(1) 評議員について

	常勤	非常勤	計
評議員の数	0 人	5 人	5 人
評議員に対する報酬等の支給の額を定める定款の事項を記載してください。			
定款の条項	第13条第2項		

(2) 理事及び監事について

	常勤	非常勤	計
理事の数	3 人	8 人	11 人
監事の数	0 人	2 人	2 人

(3) 会計監査人について

会計監査人設置の有無	会計監査人の氏名又は名称
有	
無	

右欄へ

該当する者がいない場合は、半角数字「0」を入力してください。

左欄から

(4) 会員等について(注)

会員等区分の名称	会員の数
	人
	人

(5) 職員について

職員の数	うち常勤
3 人	1 人

(6) 評議員会等の開催状況について

	開催年月日	主な決議事項等
評議員会	2019/4/3	
評議員会		
理事会		
理事会		

注 定款に、役員等が定められている場合、定款のほかに会員等の位置づけ及び会費に関する細則を定めているときは、これらの細則を添付するとともに、本欄に会員等の区分ごとの数を記載してください。

●行を増やす場合
行を増やす場合は、「13. オフライン様式に記入する(4)」の手順で実施してください。

【行追加・行削除に当たっての注意】
1. 各表の記載欄の第1行目を削除しないでください。また、第1行目をコピー元としないでください。
2. 行を追加する場合、第2行目をコピー元として、2行目以降において「コピーしたセルを挿入(E)」を行ってください。(電子申請)

西暦で入力し、表示が和暦になることを確認してください。
※西暦表示のままの場合、左ダブルクリック→キーボードの「Enter」キーを押すと表示が和暦に変換される場合があります。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	具体的な状況
評議員の数、理事の数、監事の数	A00100	空欄のままとなっている。
評議員会等の開催年月日	A00500	既存データ流用時に西暦のままとなっている。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

19. オフライン様式に記入する(10)

別紙3. 1 事業の一覧

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「3-1」)

自動

本シートは、様式チェックで「NGなし」となったら、システムが自動で作成しますので記入は不要です。
元となるデータは、別ファイルです。

- (1)は、C2-1レイアウト3-2(1).docx (公益目的事業：ワードファイル)
- (2)は、C2-1レイアウト3-2(2).docx (収益事業：ワードファイル)
- (3)は、C2-1レイアウト3-2(3).docx (その他事業：ワードファイル)

本シートは、システムで自動転記しますので、記載は不要です。
(対応する別ファイルがある場合、それを参考にして、「様式チェック(NGなし)」となった時点で、システムが自動転記します。)

【別紙3 法人の事業について】

事業 年度	目	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト行政庁協会 A

1. 事業の一覧

(1)公益目的事業

事業番号	事業の内容
公	

C2-1レイアウト3-2(1).docx
「事業の内容」欄から自動作成されます。

(2)収益事業等

[1]収益事業

事業番号	事業の内容
収	

C2-1レイアウト3-2(2).docx
「事業の内容」欄から自動作成されます。

(2)その他の事業(相互扶助等事業)

事業番号	事業の内容
他	

C2-1レイアウト3-2(3).docx
「事業の内容」欄から自動作成されます。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

20. オフライン様式に記入する(11)

別紙3. 2(1)公益目的事業について

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」とは別ファイル。

- ・[前半] C2-1レイアウト3-2(1).docx
- ・[後半] C2-1レイアウト_01_3-2(1).xlsx)

必須
※

公益目的事業が
複数ある場合は、
その分作成しま
す。

[前半] C2-1レイアウト3-2(1).docx

2. 個別事業の内容について。

(1) 公益目的事業について

事業番号	事業の内容	当該事業の 事業比率(%)
公 1	□公益認定制度の普及・啓発を行う団体への支援活動	86.8

【1】事業の概要について(注1)

□公益認定制度は、・・・

番号部分は半角数字で記入してください。

比率は、半角数字で、小数点以下第一位
までで記入してください。
また、「%」は付けないでください。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
事業番号	000100	前半と後半の事業番号が全角・半角 バラバラになっている。
当該事業の事業比率 (%)	A00600 N00100	%が付いている。 小数点以下第二位まで記入している。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

21. オフライン様式に記入する(12)

別紙3. 2(1)公益目的事業について

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」とは別ファイル。

- ・[前半] C2-1レイアウト3-2(1).docx
- ・[後半] C2-1レイアウト_01_3-2(1).xlsx)

必須
※

公益目的事業が
複数ある場合は、
その分作成しま
す。

[後半] C2-1レイアウト_01_3-2(1).xlsx

番号部分は半角数字で記入してください。

2. 個別の事業の内容について
(1) 公益目的事業について (事業単位ごとに作成してください。)

事業番号 公 1

(2) 事業の公益性について

定款(法人の事業又は目的)上の根拠

事業の種類 (別表の母) (本事業が、左欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由を記載してください。)

01
02
03
04
05
06
07

(本事業が不特定多数の者の利益の増進に寄与すると考える事業を記載してください(注1))

法人の事業に該当の区分を識別してください。
事業区分ごとのチェックポイントがその欄に表示されます。該当する事業区分がないと考える場合は、最後の10行(上記事業区分に該当しない)を削除してください。

チェックポイントに該当する旨の説明

【行追加・行削除に当たっての注意】
1. 各表の記載欄の第1行目を削除しないでください。また、第1行目をコピー元としないでください。
2. 行を追加する場合、第2行目をコピー元として、2行目以降において「コピーしたセルを挿入(E)」を行ってください。(電子申請マニュアル1-63ページ参照)

チェックポイントでは、区分欄のプルダウンメニューで区分を選択すると、対応したチェックポイントが出現します。

(1) 検査検査
1. 当該検査検査が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。
2. 当該検査検査の基準を公開しているか。
3. 当該検査検査の機会が、一般に開かれているか。
4. 検査検査の審査に当たって公正性を確保する仕組みが存在しているか。(例: 個別審査に当たって申請者と直接の利害関係を有する者の排除、検査はデータなど客観的方法による決定)
5. 検査検査に携わる人員や検査機器についての必要な能力の水準を設定し、その水準に適合していることを確認しているか。(例: 検査機器の定期的点検と性能向上/能力評価の実施/法令等により求められる能力について許認可を受けている)

(ご注意) 行を増やす場合

チェックポイント表は、**エクセルの10行分を結合して1つ事項を記載する**構成としています。

行を増やす場合には、**エクセルの10行分をひとまとまりとして**、「13. オフライン様式に記入する(4)」の操作を行ってください。

13. オフライン様式に記入する(4)の操作を行ってください。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	内容
事業番号	000100	前半と後半の事業番号が全角・半角バラバラになっている。
当該事業の事業比率(%)	A00600 N00100	%が付いている。 小数点以下第二位まで記入している。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

22. オフライン様式に記入する(13)

別紙3. 2(2)収益目的について 2(3)その他の事業について

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」とは別ファイル。

- ・[収益] C2-1レイアウト3-2(2).docx
- ・[その他] C2-1レイアウト3-2(3).docx

※

該当がある場合、
必要な数だけ別
ファイルを作成
してください。

[収益] C2-1レイアウト3-2(2).docx



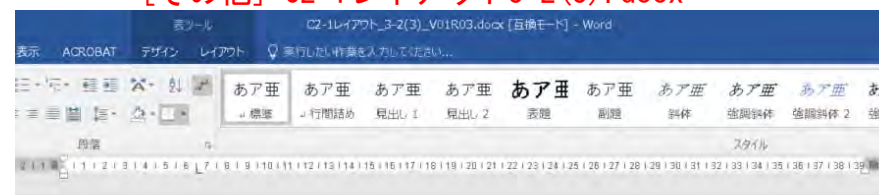
(2) 収益事業について ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ (事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容	定款(法人の事業又は目的)上の根拠
収 1	<input type="checkbox"/> 公益認定制度に係る書籍の販売	第21条第5項
事業の概要		
<input type="checkbox"/> 公益認定制度に係る・・・		

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	内容
—		

[その他] C2-1レイアウト3-2(3).docx



(3) その他の事業(相互扶助等事業)について ☐ ☐ ☐ ☐ (事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容	定款(法人の事業又は目的)上の根拠
他 1	<input type="checkbox"/> 部内研修の実施	第21条第6項
事業の概要		
<input type="checkbox"/> 公益認定制度に係る・・・		

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

23. オフライン様式に記入する(14)

別紙4 別表A(1) 収支相償の計算 (収益事業等の利益額の50%を繰入れる場合)

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「A(1)」)

必須
選択

A(1)とA(2)
のどちらか

【別紙4 法人の財務に関する公益認定の基準に係る書類について】

事業 年度	自 平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至 平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト行政庁協会

【別表A(1) 収支相償の計算(収益事業等の利益額の50%を繰入れる場合)】

(公益法人認定法第5条第6号に定められた収支相償について審査します。)

1. 第一段階(公益目的事業の収支相償)

法人が行う事業について、その経常収益、経常費用を比較します。

事業 区分	経常収益計 前年度に6欄がプラスの事業 がある場合には当該剰余金の 額を加算してください。	経常費用計	その事業に係る 特定費用準備資金の 当期取崩額	その事業に係る 特定費用準備資金の 当期積立額	第一段階の判定 (2欄-3欄+4欄-5欄)
公 1	1,000,000 円	1,100,000 円	100,000 円	0 円	0 円
公 2	2,000,000 円	1,300,000 円	0 円	700,000 円	0 円
計	3,000,000 円	2,400,000 円	100,000 円	700,000 円	

第二段階 7 欄
(収入)へ

第二段階 7 欄
(費用)へ

プラスの事業がある場合、発
生理由とこれを解消するた
めの計画等を記入ください。

理由:	
計画:	

2. 第二段階(公益目的事業会計全体の収支相償判定)

法人の公益目的事業会計全体に係る収入と費用等を比較します。

	収入	費用
第一段階の経常収益計と経常費用計(2欄-3欄)	7 3,000,000 円	2,400,000 円
特定の事業と関連付けられない公益目的事業に係るその他の経常収益、経常費用	8 円	円
7欄と8欄の合計(公益目的事業会計の経常収益計、経常費用計の額と一致している か確認してください。)	9 3,000,000 円	2,400,000 円
公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する繰越別表C(5)より(当期の取崩額 「収入」欄に、積立額を「費用」欄に記載してください。)	10 円	円
収益事業等から 生じた利益の繰入額	11 円	
その他の事業(相互扶助等事業) から生じた利益の繰入額	12 円	
合計(9欄+11欄+12欄)	13 3,000,000 円	2,000,000 円

※ 第二段階における剰余金の扱い

剰余が生じる場合(収入-費用欄の数値がプラスの場合)は、その剰余相当額を公益目的保有財産に係る資産取得、改良に充てるた
めの資金に繰り入れたり、公益目的保有財産の取得に充てたりするが、翌年度の事業拡大を行うことにより同額程度の損失となるよう
なければなりません。収入-費用欄の数値がプラスの場合、法人における剰余金の扱いの計画等を記載してください。

収支相償がプラスとなる場合の剰余金の取崩

平成30年度の事業において、……

●行を増やす場合

行を増やす場合は、「13. オフライン様式に
記入する(4)」の手順で実施してください。

同じ行の他の項目に記入がある場合は、
すべての項目に記入してください。

10欄は、様式チェックで「NGなし」
となったら、システムが自動作成しま
す。
C(5)の、当期の取崩額と積立額が該当
します。

記入内容は、別紙1(1)収支相償の「収
入>費用の場合の対応」欄に転記され
ます。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
第一段階(各項目)	A00100	同行の他の項目に記入があるが、未 記入の項目がある。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

24. オフライン様式に記入する(15)

別紙4 別表A(2) 収支相償の計算 (収益事業等の利益額を50%を超えて繰入れる場合)

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「A(2)」)

必須
選択

A(1)とA(2)
のどちらか

【別表A(2) 収支相償の計算(収益事業等の利益額を50%を超えて繰入れる場合)】

(公益法人認定法第5条第6号に定められた収支相償について審査します。)

1. 第一段階(公益目的事業の収支相償)

法人が行う事業について、その経常収益、経常費用を比較します。

事業 区分	経常収益計 前年度に6欄がプラスの事業 がある場合には当該剰余金の 額を加算してください。	経常費用計	その事業に係る 特定費用準備金の 当期取崩額	その事業に係る 特定費用準備金の 当期積立額	第一段階の判定 (2欄-3欄+4欄-5欄)
1	2	3	4	5	6
公益	円	円	円	円	円
	0円	0円	0円	0円	0円

第二段階7欄
(収入)へ

第二段階7欄
(費用)へ

プラスの事業がある場合、発
生理由とこれを解消するた
めの計画等を記入してください。

理由:

計画:

2. 第二段階(公益目的事業会計全体の収支相償判定)

法人の公益目的事業会計全体に係る収入と費用等を比較します。

	収入	費用
第一段階の経常収益計と経常費用計(2欄-3欄)	7 0円	0円
特定の事業と関連付けられない公益目的事業に係るその他の経常収益、経常費用	8 円	円
7欄と8欄の合計(公益目的事業会計の経常収益計、経常費用計の額と一致している か確認してください。)	9 0円	0円
公益目的保有財産に係る価値減却費 (経常費用額の控除対象。「費用」欄に記載してください。)	10 円	円
公益目的事業に係る特定費用準備金に関する調整(別表C(4)より)(当期の取崩額を 「収入」欄に、積立額を「費用」欄に記載してください。ただし、上限があります。)	11 円	円
公益資産取得資金に関する調整(別表C(4)より)(当期の取崩額を「収入」欄に、積立額 を「費用」欄に記載してください。ただし、上限があります。)	12 円	円
公益目的保有財産に係る当期収支(売却に關しては売却収入額を「収入」欄に、取得 に關しては支出額を「費用」欄に記載してください。)	13 円	円
収益事業等から 生じた利益の繰入額	14 円	円
その他の事業(相互扶助等事業) から生じた利益の繰入額	15 円	円
合計(9欄-15欄)	16 0円	0円

一つの公益目的事業のみを
実施している場合(法人が
行う公益目的事業が「公
1」のみの場合)には第二段
段階のみ記載してくださ
い。

11欄、12欄は、システムで自動
転記しますので、記載は不要で
す。(対応する別ファイルがあ
る場合、それをもとに「NGなし」と
なった時点で、システムが自動
転記します。)

●行を増やす場合

行を増やす場合は、「13. オフライン様式に
記入する(4)」の手順で実施してください。

同行の他の項目に記入がある場合は、
すべての項目に記入してください。

11欄、12欄は、様式チェックで「NG
なし」となったら、システムが自動作
成します。
11欄はC(5)の、当期の取崩額と積立額、
12欄はC(4)の、当期の取崩額と積立額
が該当します。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
第一段階(各項目)	A00100	同行の他の項目に記入があるが、未 記入の項目がある。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

25. オフライン様式に記入する(16)

別紙4 別表A(3)第二段階・収益事業等の利益から公益目的事業財産への繰入額の計算

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「A(3)」)

※

事業 年度	自	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト(行政庁協会 A)

【別表A(3) 第二段階・収益事業等の利益から公益目的事業財産への繰入額の計算】

(A(1)、A(2)の収支相償第二段階の審査の際に必要な。収益事業等の利益から公益目的事業財産への繰入額の計算に用います。)
収益事業等の利益の50%を公益目的事業へ繰入れる場合は(1)を、50%を超えて繰入れる場合は(2)を記載してください。

(1) 収益事業等の利益額の50%を公益目的事業財産へ繰入れる場合

		収益事業	その他事業 (相互扶助等事業)
正味財産増減計算書	収益事業等の経常収益の総額	1円	円
	収益事業等の経常外収益の総額	2円	円
	収益事業等の収益総額(1欄+2欄)	30円	0円
	収益事業等の経常費用の総額	4円	円
	収益事業等の経常外費用の総額	5円	円
	収益事業等の費用総額(4欄+5欄)	60円	0円
	収益事業等当期利益額(3欄-6欄)	70円	0円
管理費のうち収益事業・その他事業に按分される額の控除	8△円	△円	
調整後の収益事業等の当期利益総額(7欄+8欄)	90円	0円	
うち、収益事業等の利益から公益目的事業財産への繰入額	10円	0円	
うち実物資産を繰入れる額 ※	11円	0円	

※実物資産を繰入れる場合は、繰入れる資産について次の欄に記載してください。

資産の名称	場所	面積、構造、物量等	事業番号	繰入れ後の資産の使途 (概要、使用面積、使用用途等)	帳簿価額
			公		円

右欄へ

10欄に未満の端数があった場合は切り上げの額を入力してください。
このルールに沿っていない場合、セル色が桃色になります。

●行を増やす場合
行を増やす場合は、「13. オフライン様式に
記入する(4)」の手順で実施してください。

左欄から

(2) 収益事業等の利益額の50%を超えて公益目的事業財産へ繰入れる場合

		収益事業	その他事業 (相互扶助等事業)
正味財産増減計算書	収益事業等の経常収益の総額	1 円	円
	収益事業等の経常外収益の総額	2 円	円
	収益事業等の収益総額(1欄+2欄)	3 0円	0円
	収益事業等の経常費用の総額	4 円	円
	収益事業等の経常外費用の総額	5 円	円
	収益事業等の費用総額(4欄+5欄)	6 0円	0円
	収益事業等当期利益総額(3欄-6欄)	7 0円	0円
管理費のうち収益事業・その他事業に按分される額の控除	8 △ 円	△ 円	
調整後の収益事業等の当期利益総額(7欄+8欄)	9 0円	0円	合計
うち、収益事業等の利益から公益目的事業財産への繰入額	10 円	円	0円
うち実物資産を繰入れる額 ※	11 円	円	0円

※実物資産を繰入れる場合は、繰入れる資産について次の欄に記載してください。

資産の名称	場所	面積、構造、物量等	事業番号	繰入れ後の資産の使途 (概要、使用面積、使用用途等)	帳簿価額
			公		円
			公		円

〇様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
—		

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

26. オフライン様式に記入する(17)

別紙4 別表B(1)公益目的事業比率の算定総括表

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「B(1)」)

必須

※本シートは必須ですが、表の内容は全てB(5)のシートから転記されますので、記入不要です。

事業 年度	目 至	平成30年4月1日	法人コード	A025001
		平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト行政庁協会
【別表B(1) 公益目的事業比率の算定総括表】 (公益法人認定法第55条第8項に定められた公益目的事業比率について記載します。)				
公益目的事業比率の算定				
公益実施費用額(13欄より)	1	40,888,518	円	
公益実施費用額+収益等実施費用額+管理運営費用額 (13、23、33欄の合計)	2	50,030,256	円	
公益目的事業比率(1欄÷2欄)	3	81.7	%	
公益実施費用額の計算				
公益目的事業に係る事業費の額(別表B(5)Ⅰ欄より)	4	40,888,518	円	
土地の使用に係る費用額(別表B(5)Ⅱ欄より)	5	0	円	
融資に係る費用額(別表B(5)Ⅲ欄より)	6	0	円	
無償の役務の提供等に係る費用額(別表B(5)Ⅳ欄より)	7	0	円	
特定費用準備金積立額(別表B(5)Ⅴ欄より)	8	0	円	
特定費用準備金取崩額(別表B(5)Ⅵ欄より)	9	0	円	
引当金の取崩額(別表B(5)Ⅶ欄より)	10	0	円	
財産の譲渡損等(別表B(5)Ⅷ欄より)	11	0	円	
調整額計(5欄～11欄の計)	12	0	円	
公益実施費用額(4欄+12欄)	13	40,888,518	円	
収益等実施費用額の計算				
収益事業等に係る事業費の額(別表B(5)Ⅰ欄より)	14	0	円	
土地の使用に係る費用額(別表B(5)Ⅱ欄より)	15	0	円	
融資に係る費用額(別表B(5)Ⅲ欄より)	16	0	円	
無償の役務の提供等に係る費用額(別表B(5)Ⅳ欄より)	17	0	円	
特定費用準備金積立額(別表B(5)Ⅴ欄より)	18	0	円	
特定費用準備金取崩額(別表B(5)Ⅵ欄より)	19	0	円	
引当金の取崩額(別表B(5)Ⅶ欄より)	20	0	円	
財産の譲渡損等(別表B(5)Ⅷ欄より)	21	0	円	
調整額計(15欄～21欄の計)	22	0	円	
収益等実施費用額(14欄+22欄)	23	0	円	

本シートは、次シートB(5)の入力の内容が自動計算で反映されます。

左欄から

管理運営費用額の計算		
管理費の額(別表B(5)Ⅰ欄より)	24	9,141,738 円
土地の使用に係る費用額(別表B(5)Ⅱ欄より)	25	0 円
融資に係る費用額(別表B(5)Ⅲ欄より)	26	0 円
無償の役務の提供等に係る費用額(別表B(5)Ⅳ欄より)	27	0 円
特定費用準備金積立額(別表B(5)Ⅴ欄より)	28	0 円
特定費用準備金取崩額(別表B(5)Ⅵ欄より)	29	0 円
引当金の取崩額(別表B(5)Ⅶ欄より)	30	0 円
財産の譲渡損等(別表B(5)Ⅷ欄より)	31	0 円
調整額計(25欄～31欄の計)	32	0 円
管理運営費用額(24欄+32欄)	33	9,141,738 円

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
—		

右欄へ

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

27. オフライン様式に記入する(18)

別紙4 別表B(2)、B(3)、B(4) (「C2-1レイアウト(本編).xlsx」とは別のファイル)

※

該当がある場合、
必要な数だけ別
ファイルを作成
してください。

別表B(2) 土地の使用に係る費用額の算定 (C2-1レイアウトB(2).xlsx)

別表B(3) 融資に係る費用額の算定 (C2-1レイアウトB(3).xlsx)

別表B(4) 無償の役務の提供等に係る費用額 の算定 (C2-1レイアウトB(4).xlsx)

【別表B(2) 土地の使用に係る費用額の算定】
(公益法人認定法第9号に定められた公益目的事業比率の計算に必要な、土地の使用に係る費用額の算定に用います。土地一覧ごとに1枚記載してください。)

土地の所在地	1	面積	2	㎡	帳簿価格	3	円
1年未満の土地賃料相場額(7欄)より	4	円	土地の使用に当たり負担した費用額(固定資産税額等)	5	円		
事業費に算入すべきみなし費用額合計(4欄+5欄)	6	円					
土地の賃料相当額(4欄)の算定根拠	7						
別送資料							
土地の使用に当たり負担した費用額(5欄)の内容と算定根拠	9						
別送資料							
9. 算入対象となる事業名と土地使用方法 記載欄							
事業	区分	番号	事業の内容及び各事業ごとの土地使用方法				記載欄
							円
							円
土地の賃料相当額の各事業の費用額への配賦計算内訳(9欄)の算定根拠	10						
別送資料							

【別表B(3) 融資に係る費用額の算定】
(公益法人認定法第9号に定められた公益目的事業比率の計算に必要な、融資に係る費用額の算定に用います。)

事業番号	1	区分	番号
事業の内容	2		
貸付の内容	3		
貸付利率	4		
借入利率、借入期間、返済期間の利率	5		
費用額に算入する額(7欄)の算定根拠	6		
別送資料			
費用額に算入する額	7	円	7欄の額を、別表B(5) 10 (総額に係る費用額)へ転記してください。

【別表B(4) 無償の役務の提供等に係る費用額の算定】
(公益法人認定法第9号に定められた公益目的事業比率の計算に必要な、無償の役務の提供等に係る費用額の算定に用います。役務提供等1件ごとに1枚記載してください。)

役務提供等の名称	1		
役務提供等の内容	2		
役務提供等を受ける場所	3		
役務の提供があった事業を証する方法	4		
必要対価の額(役務提供の対価額)	5	円	支払対価の額(役務提供に付し実際に支払う額)
5		円	
費用額に算入する額(7欄)の算定根拠	7	円	
必要対価の額(5欄)の算定根拠(役務提供の対価額)を、別表B(5) 10 (総額に係る費用額)へ転記してください。また、昨年度の算定等があれば記載してください。	8		
別送資料			
支払対価の額(5欄)の内容と算定根拠	9		
別送資料			
10. 算入対象となる事業と記載欄			
事業	区分	番号	事業の内容及び事業の実施に対し、この役務の提供等が不可欠である理由を説明してください。
			円
			円
各事業の費用額への配賦(10欄)計算内訳	11		
別送資料			

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	内容
事業年度	A00500	既存データ流用時に西暦のままになっている。

西暦で入力し、表示が和暦になることを確認してください。
※西暦表示のままの場合、左ダブルクリック→キーボードの「Enter」キーを押すと表示が和暦に変換される場合があります。

●行を増やす場合
行を増やす場合は、「13. オフライン様式に記入する(4)」の手順で実施してください。

28. オフライン様式に記入する(19) 別紙4 別表B(5) 公益目的事業比率算定に係る計算表
(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「B(5)」)

100

(單位:元)

(單位:元)

【ご注意】
旧システムで終了した手続を「既存データを流用」で流用した場合、本シートにデータは流用されません。
(旧システムでは、B (5) をダウンロード様式のエクセルファイルのまま保管しているため、新システム上のデータベースを介したデータ流用ができません。)

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	内容
第Ⅵ表、第Ⅶ表	N00300	マイナス値を入力する箇所に〇（以上）の額を記載

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

29. オフライン様式に記入する (20)

別紙4 別表C(1) 遊休財産額の保有制限の判定

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「C(1)」)

※C(1)基金もほぼ同じなので、C(1)のみ掲載します。

必須
選択
C(1)と
C(1)基金の
どちらか

別表C(1) 遊休財産額の保有制限の判定

事業 年度	自 平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至 平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスティング協会 A

この様式では、遊休財産額が、遊休財産額の保有上限額を超えていないことを確認します。
遊休財産額は、以下の計算により算定します。

遊休財産額 = 資産 - (負債 + 一般社団・財団法人法第131条の基金) - (控除対象財産 - 対応負債の額)

※対応負債の額は、控除対象財産に直接対応する負債の額とその他の負債のうち控除対象財産に振替された負債の合計額です。
なお、控除対象財産から対応負債の額を控除する場合は、借入金等によって資産を取崩している場合には、負債が二重で減算される
ことになってしまいます。

1. 遊休財産額の計算に必要な数値の作成(下記3.及び4.に必要な数値を作成します。)

資産の部		負債の部	
流動資産計	1	流動資産に直接対応する負債の額	6
固定資産計	2	控除対象財産に直接対応する負債の額 32欄	7
固定資産	3	その他の固定資産に直接対応する負債の額	8
固定資産計 5欄-1欄	4	引当金勘定の合計額 35欄	9
		その他負債の額 11欄-6欄-7欄-8欄-9欄	10
		負債計 25欄	11
		正味財産の部	
		一般社団・財団法人法第131条の基金 27欄	12
		指定正味財産の額 33欄	13
		一般正味財産の額 15欄-12欄-13欄	14
		正味財産計	15
資産計	5	負債及び正味財産合計 9欄(11欄+15欄と同額)	16

2. 遊休財産額の保有上限額(=公益目的事業の実施に要した費用の額に準ずる額)の計算

損益計算書上の公益目的事業 に係る事業費の額	17	公益実施費用額から控除する引当金の取崩額	21
商品等の準備金等費用計上していない場合のみ 商品等取崩に係る原価相当額	18	財産の譲渡損、評価損等の額	22
特定費用準備金等の公益実施費用額への算入額 (別表C(5)から転記(公益目的事業の場合のみ))	19	特定費用準備金等の公益実施費用額からの控除額 (別表C(5)から転記(公益目的事業の場合のみ))	23
計 (17欄+18欄+19欄)	20	控除額計 (21欄+22欄+23欄)	24

3. 遊休財産額の計算

資産 5欄	25	流動資産の額 2欄	26
負債 11欄	26	固定負債の額 32欄	27
一般社団・財団法人法 第131条の基金 12欄	27	遊休財産額 25欄-26欄-27欄-28欄+29欄 (以下の場合にのみ)	30

プルダウンメニューから7項・8項
のいずれかを選択すると、対応した
表(7項は左、8項は右)に額が表
示されます。

左欄から

4. 対応負債の額の計算(次の2つの方法のうちいずれかをリストから選択してください。)

公益法人認定法施行規則第22条第7項の方法

控除対象財産の額 2欄	31	120,488,812 円
控除対象財産に直接対応する負債の額 7欄	32	0 円
指定正味財産の額 13欄	33	0 円
31欄-32欄-33欄	34	120,488,812 円
引当金勘定の合計額 35欄	35	0 円
各資産に直接対応する負債の額 6欄+7欄+8欄	36	3,485,433 円
その他負債の額 10欄(11欄-35欄-36欄と同額)	37	0 円
一般正味財産の額 14欄(5欄-11欄-12欄-13欄)と同額(以下の場合にのみ)	38	215,161,167 円
対応負債の額 32欄+34欄+37欄(37欄+39欄)	39	0 円

公益法人認定法施行規則第22条第8項の方法	
控除対象財産の額 2欄又は28欄	31
指定正味財産の額 13欄	33
31欄-33欄	34
引当金勘定の合計額 35欄	35
その他負債の額 11欄-35欄	37
一般正味財産の額 14欄(5欄-11欄-12欄-13欄)と同額(以下の場合にのみ)	38
対応負債の額 34欄+37欄(37欄+39欄)	39

【判定結果】

遊休財産額の保有上限額 20欄-24欄	40	40,888,518 円
遊休財産額 30欄	41	94,672,355 円
遊休財産額の保有上限額の超過の有無	42	不適合

19欄及び23欄は、シ
ステムで自動転記し
ますので、記載は不
要です。(対応する
別ファイルがある場
合、それを参考にし
て、「様式チェック
(NGなし)」となっ
た時点で、システム
が自動転記します。

右欄へ

19欄、23欄は、様式チェックで「NGなし」と
なったら、システムが自動作成します。
C(5)の、当期の積立額と取崩額が該当します。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
—		

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

30. オフライン様式に記入する (21)

別紙 4 別表 C (2) 控除対象財産

(「C2-1レイアウト(本編).xls」中のシート「C(2)」)

事業 年度	自	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テス行政庁協 会A

【別表C(2) 控除対象財産】

※1 法人の経理運営に用いる財産については、事業番号の欄に「管」を記載してください。
 ※2 期首・申請書に添付した収支予算書の期首、期末・申請書に添付した収支予算書の期末

番号		財産の名称	場所 国・県、市町村等	事業区分 等	財産の使用状況 (概要、使用用途、使用状況 等)	帳簿価額		手元 収支時刻	共用財産
						期首※2	期末※2	取得時期	共用割合
1		基本財産土地	〇〇〇	公	公益目的事業の用に供している	110,000,000 円	64,000,000 円	有	2-1
		〇〇〇平方メートル	1					認定価	89.0 %
2		基金財産建物及び附 属物	〇〇〇平方メートル	公	公益目的事業の用に供している	11,000,000 円	9,000,000 円	認定価 有	89 2-2
		〇〇〇平方メートル	1						
3		基本財産展示品	〇〇〇〇〇	公	公益目的事業の用に供している	17,000,000 円	17,000,000 円	有	2-2
		展示ケース等	1					認定前	89.0 %
計(A)						208,000,000 円	30,000,000 円		

2. 公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産								
番号	財産の名称	場所	事業区分 第1 事業区分 (概要、使用面積、使用状況等)	帳簿価額		共同財産 共同割合		
				期首第2	期末第2			
1	土地	〇〇市〇〇〇 〇〇〇平方メートル	管	1	公共事業の管理の業務用に供している	11,000,000 円	11,000,000 円	1-1 12.0 %
2	建物及び附属設備	〇〇市〇〇〇 〇〇〇平方メートル	管	1	公共事業の管理の業務用に供している	10,000,000 円	9,400,000 円	12 1-2 1.2 %
3	構築物	〇〇市〇〇〇 展示ケース等	管	1	公共事業の管理の業務用に供している	3,000,000 円	2,900,000 円	1-2 12.0 %
4	車両運搬具	〇〇市〇〇〇 展示ケース等	管	1	公共事業の管理の業務用に供している	950,000 円	370,000 円	12 1-3 1.3 %
5	什器備品	〇〇市〇〇〇 下水建設係・管等	管	1	公共事業の管理の業務用に供している	3,000,000 円	910,000 円	1-3 53.0 %
6	展示品	〇〇市〇〇〇 下水建設係・管等	管	1	公共事業の管理の業務用に供している	4,000,000 円	2,900,000 円	53 1-4 1.4 %
7	初期財産権	〇〇市〇〇〇 防音壁	管	1	公共事業の管理の業務用に供している	1,000,000 円	930,000 円	1-4 50.0 %
計(円)						30,850,000 円	29,220,000 円	

3. 資産取得資金（公益のみ）（別添C(4)より）							
番号	資金の名称	事業開始 年1	資金の目的	帳簿価額		公益目的 保有財産	共同財産 共同割合
				期首※①	期末※②		
		1		円	円		
		2		円	円		
		3		円	円		
		4		円	円		
		5		円	円		
		6		円	円		
		7		円	円		
		8		円	円		
		9		円	円		
		10		円	円		
		11		円	円		
		12		円	円		
		13		円	円		
		14		円	円		
		15		円	円		
		16		円	円		
		17		円	円		
		18		円	円		
		19		円	円		
		20		円	円		
		21		円	円		
		22		円	円		
		23		円	円		
		24		円	円		
		25		円	円		
		26		円	円		
		27		円	円		
		28		円	円		
		29		円	円		
		30		円	円		
		31		円	円		
		32		円	円		
		33		円	円		
		34		円	円		
		35		円	円		
		36		円	円		
		37		円	円		
		38		円	円		
		39		円	円		
		40		円	円		
		41		円	円		
		42		円	円		
		43		円	円		
		44		円	円		
		45		円	円		
		46		円	円		
		47		円	円		
		48		円	円		
		49		円	円		
		50		円	円		
		51		円	円		
		52		円	円		
		53		円	円		
		54		円	円		
		55		円	円		
		56		円	円		
		57		円	円		
		58		円	円		
		59		円	円		
		60		円	円		
		61		円	円		
		62		円	円		
		63		円	円		
		64		円	円		
		65		円	円		
		66		円	円		
		67		円	円		
		68		円	円		
		69		円	円		
		70		円	円		
		71		円	円		
		72		円	円		
		73		円	円		
		74		円	円		
		75		円	円		
		76		円	円		
		77		円	円		
		78		円	円		
		79		円	円		
		80		円	円		
		81		円	円		
		82		円	円		
		83		円	円		
		84		円	円		
		85		円	円		
		86		円	円		
		87		円	円		
		88		円	円		
		89		円	円		
		90		円	円		
		91		円	円		
		92		円	円		
		93		円	円		
		94		円	円		
		95		円	円		
		96		円	円		
		97		円	円		
		98		円	円		
		99		円	円		
		100		円	円		

2. 資産取得資金(公益以外)(別表C(4)より)						
番号	資金の名称	事業 番号 ※1	資金の目的	帳簿価額		共同財産
続番				期首※2	期末※2	共同割合
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円		円
				円	</	

本シート中、「共用割合」を記載する場合は、小数点以下第1位までとしてください。
(以下2、5、6表で同じ。)

【行追加・行削除に当たっての注意】
1.各表の記載欄の第1行目を削除しないでください。また、第1行目をコピー元としないでください。
2.行を追加する場合、第2行目をコピー元として、2行目以降において「コピーしたセルを挿入(E)」を行ってください。(電子申請マニュアル1-63ページ参照)
(以下2、5、6表で同じ。)

本表は、システムで自動転記しますので、記載は不要です。
(対応する別ファイルがある場合、それを参考にして、「様式チェック(NGなし)」となった時点で、システムが自動転記します。
(以下3「公益以外」、4表で同じ。)

10

左欄から

4. 特定費用準備資金(公益のみ)(別表C5はより)

番号	資金の名称	事業 番号 ※1	資金の目的	帳簿価額	
				期首※2	期末※2
		公		円	
		公		円	
		公		円	
		公		円	

C2-1レイアウトC(5) 公益.xlsxから

[illegible]

日、交付金の尾の2位未満に於て使用・保管している現金(1～4位記載した期間に該当しません。)

番号	財産の名称	事業 番号1	交付者の定めた用途	帳簿価額	
				明細第2	明細第2
				円	
				円	
計(E)				0 円	0

6. 交付書の定めた用途に充てるために保有している資金(1～4に記載した資金は含まれません。)

番号	資金の名称	事業年度 第1	交付者の定めた用途	償還倍額	
				期首倍額	期末倍額
				円	
				円	
計(円)				0 円	

持分対象財産の額(A～Fの合計)	期首※2	期末※2
	288,850,000 円	119,280,000

【ご注意】

既存データ流用の際、帳簿価額の数字について、セル内で正常に表示されていると見えても、数式バーで「,」（カンマ）つきとなっている場合があります。これは、エクセルシートが半角数字（金額）として認識していない状況です。

64,000,000

※左ダブルクリック→キーボードの「Enter」キーを押すと金額に変換される場合があります。

3表、4表は、様式チェックで「NGなし」となったら、システムが自動作成します。

●行を増やす場合
行を増やす場合は、「13. オ
フライン様式に記入する
(4)」の手順で実施してくだ
さい。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	内容
帳簿価額	A00600	既存データ流用の際、半角数字として認識していない。

右欄へ

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

31. オフライン様式に記入する (22)

別紙4 別表C(3) 公益目的保有財産配賦計算表

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」とは別のファイル。

別表C(3)_公益目的財産配賦計算表.xlsx)

※

記載要領：下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

別表C(3) 公益目的保有財産配賦計算表

別表C(2) 控除対象財産における1. 公益目的保有財産の各事業への配賦方法を確認するものです。
複数の事業に関連する財産については、配賦基準を明記の上、記載してください。

(上段:配賦の根拠数値、中段:配賦割合、下段:配賦額)(単位:円)

番号	財産の名称	帳簿価額	配賦基準	公益目的事業会計							収益事業等会計					法人会計	
				公1	公2	公3	公4	公5	共通	小計	収1	収2	他1	他2	共通		小計
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	

記載要領：下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

旧システムと同じ様式を使用しています。
旧システムでお使いの様式(.XLS)もご利用いただけます。

【ご注意】

システムへのアップロードの際は、PDFに変換せず、**エクセルファイルのままアップロード**してください。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	内容
(異常終了)	ー	PDFでアップロードした。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

32. オフライン様式に記入する (23)

別紙 4 別表 C (4) 資産取得資金【公益】

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」とは別のファイル。
C2-1レイアウトC(4)公益.xlsx)

※

該当がある場合、
必要な数だけ別
ファイルを作成
してください。

西暦で入力し、表示が和暦になることを確認してください。
※西暦表示のままの場合、左ダブルクリックキーボードの
「Enter」キーを押すと表示が和暦に変換される場合があります。

No.	1		
事業年度	平成30年4月1日 平成31年3月31日	法人コード	A025001
法人名	公益財団法人テスト行政庁協会A		

【別表C(4) 資産取得資金】
別表C(2) 控除対象財産における3. 資産取得資金の明細となるほか、別表A(2) 収支相償(収益事業等の利益額を50%を超えて繰入れる場合)における公益資産取得資金に関する調整の算出に用います。

事業年度	公	1	資産取得資金の名称 (資産取得科目名)	〇〇〇〇の取得		
対象となる資産の名称	〇〇〇〇					
当該資産の目的	〇〇〇〇					
計画期間(事業年度)	平成	29	年度 ~	平成	30	年度 (- 2 年間)
資産取得等予定時期	平成31年3月31日					
資産の取得等に必要額の算定方法	〇〇〇〇					
資産全体に占める公益目的事業に使用する割合(%) ^{※1} (共用財産の場合のみ)	10.1	資産全体に占める公益目的事業に使用する割合の説明 (共用財産の場合のみ)	〇〇〇〇			
当該事業年度の目的外取崩し (当該事業年度に取崩しを行った場合のみ)	なし					

※1 資産の区分が可能な場合には資産の配賦割合を、物理的な特定が困難な資産としては使用割合を記載してください。

記入する場合は、
半角数字、小数点
以下第一位まで記
入してください。

右欄へ

〇様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	内容
事業年度	A00500	既存データ流用の際、西暦となっており、日付として認識されていない。

左欄から

1. 控除対象財産における資産取得資金の計算
【当年度後3年間の計画】(経過年度は実測値を記載)

年度	利益の※1 繰入割合	積立額	取崩額	資産取得資金の額 (累計)	積立残高
3年度前		円	円	円	円
前々年度		円	円	0円	円
29: 前年度	50%	10,000,000円	0円	10,000,000円	10,000,000円
30: 当年度	50%超	0円	10,000,000円	0円	0円
次年度		円	円	0円	円
次々年度		円	円	0円	円
3年度後		円	円	0円	円

※2 当該年度の収益事業等の利益の繰入割合を選択してください。

2. 公益目的事業全体の収支相償における公益資産取得資金の当期積立額及び取崩額の計算

(当該資産取得資金が、公益資産取得資金であり、かつ、当年度に収益事業等の利益額を50%を超えて繰入れる場合のみ記載が必要です。)

【当年度の前3年間の計画】(当年度までの数値を記入)

※3 収支相償上の積立額及び取崩額は、それぞれの限度額の範囲内で記載してください。

年度	収支相償上の 積立原価額	収支相償上の積立額 ^{※1}	収支相償上の 取崩原価額	収支相償上の取崩額 ^{※2}	収支相償上の資産 取得資金の額(累計)
3年度前	0円	円	0円	円	円
前々年度	0円	円	0円	円	0円
29: 前年度	10,000,000円	10,000,000円	0円	0円	10,000,000円
30: 当年度	0円	0円	10,000,000円	10,000,000円	0円

収益事業等の利益額を50%を超えて繰入れる場合は、この数値を、別表A(2)「収益事業等の利益額を50%を超えて繰入れる場合」の公益資産取得資金に関する調整(12欄)に記入してください。

1. の当年度の取崩額

10,000,000円

収益事業等の利益額を50%を超えて繰入れる場合は、この数値を、別表A(2)「収益事業等の利益額を50%を超えて繰入れる場合」の公益目的保有財産に係る当期収支(19欄)「費用」に記入してください。

※4 以下、他欄への転記用データの入力箇所がありますので御注意ください。

別表C(2) 控除対象財産「3. 資産取得資金(公益のみ)」(別表C(4)より)転記用データ		
積立額(期首)	公益目的保有財産	共用財産
当年度	10,000,000 円	

C(2)に転記(自動作成)するための情報ですので、
必要事項を記入してください。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

33. オフライン様式に記入する (24)

別紙 4 別表 C (4) 資産取得資金【公益以外】

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」とは別のファイル。

C2-1レイアウトC(4)収益.xlsx)

※

該当がある場合、
必要な数だけ別
ファイルを作成
してください。

西暦で入力し、表示が和暦になることを確認してください。
※西暦表示のままの場合、左ダブルクリックキーボードの
「Enter」キーを押すと表示が和暦に変換される場合があります。

No.	1	検索
-----	---	----

事業 年度	目	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト行政庁協会 A

【別表C(4) 資産取得資金】

別表C(2) 控除対象財産における3. 資産取得資金の明細となります。

事業 番号	資産取得資金の名称 (貸借対照表科目名)	〇〇〇〇
対象とな る	〇〇〇〇	
他 管		
当該資産の目的	〇〇〇〇	
計画期間(事業年度)	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度 (3 年間)	
資産取得等予定時期	平成31年1月1日	
資産の取得等に必要な額の 算定方法	〇〇〇	
資産全体に占める公益目的 事業以外に使用する割合(%) ^{※1} (共用財産の場合のみ)	10.1	資産全体に占める 公益目的事業以外に 使用する割合の説明 (共用財産の場合のみ)
当該事業年度の目的外取崩し (当該事業年度に取崩しを 行った場合のみ)	なし	

※1 資産の区分が可能な場合に、資産の取得割合を、物理的な特定が困難で一の資産とした場合には使用割合を記載してください。

記入する場合は、
半角数字、小数点
以下第一位まで記
入してください。

右欄へ

左欄から

1. 控除対象財産における資産取得資金の計算

【当年度後3年間の計画】(経過年度は実測値を記載)

年度	利益の※ 繰入割合	積立額	取崩額	資産取得資金の額 (累計)	積立限度額
3年度前		円	円	円	円
28 前々年度	50%	10,000,000 円	0 円	10,000,000 円	10,000,000 円
29 前年度	50%	0 円	0 円	10,000,000 円	10,000,000 円
30 当年度	50%超	0 円	10,000,000 円	0 円	0 円
次年度		円	円	0 円	円
次々年度		円	円	0 円	円
3年度後		円	円	0 円	円

※2 当該年度の収益事業等の利益の繰入割合を填报してください。

※以下、各欄への転記用データの入力箇所がありますのでご注意ください。

別表C(4) 控除対象財産「資産取得資金(公益以外)」(別表C(4)より)転記用データ	
帳簿価額(期首)	共用財産
当年度	10,000,000 円

C(2)に転記(自動作成)す
るための情報ですので、
必要事項を記入してくだ
さい。

〇様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
事業年度	A00500	既存データ流用の際、西暦となっ ており、日付として認識されてい ない。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

34. オフライン様式に記入する (25)

別紙4 別表C (5) 特定費用準備資金【公益】

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」とは別のファイル。
C2-1レイアウトC(5)公益.xlsx)

※

該当がある場合、
必要な数だけ別
ファイルを作成
してください。

No.	1
-----	---

事業 年度	目	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	公益財団法人デブト行政庁協会	A

別表C(5) 特定費用準備資金

別表C(2) 控除対象財産における4. 特定費用準備資金の明細となるほか、別表A(1)及びA(2) 収支相償の計算における公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する調整。別表B(5) 公益目的事業比率算定に係る計算表における特定費用準備資金当期積立額及び取崩額。別表C(1) 遊休財産額の保有割合の判定における特定費用準備資金の公益実施費用額への算入額及び特定費用準備資金の公益実施費用額からの控除額の算出に用います。

事業番号	公	1	特定費用準備資金の名称 (貸借対照表科目名)	〇〇〇〇
将来の特定の活動の名称				
当該活動の内容				
計画期間(事業年度)				
当該活動の実施予定時期				
積立限度額の算定方法				
当該事業年度の目的外取崩 (当該事業年度に取崩しを行った場合のみ)				

1. 控除対象財産における特定費用準備資金並びに公益目的事業比率における当期積立額及び取崩額の計算

【計画全体】(経過年度は実測値を記載)

年度	利益の 繰入割合	積立額	取崩額	特定費用準備資金の額 (累計)	積立限度額
27	50%	10,000,000 円	0 円	10,000,000 円	10,000,000 円
28	50%	0 円	0 円	10,000,000 円	15,000,000 円
29	50%	5,000,000 円	0 円	15,000,000 円	15,000,000 円
30	50%超	0 円	15,000,000 円	0 円	0 円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円

※1 当該年度の収益事業等の利益の繰入割合を調整してください。

【当年度】(計画全体のうち、当年度分の数字を転記)

年度	積立額	取崩額	特定費用準備資金の額 (累計)	積立限度額
30	0 円	15,000,000 円	0 円	0 円

算出した数値を、各事業別に、それぞれ、別表B(5) V (特定費用準備資金当期積立額)及びB(5) VI (特定費用準備資金当期取崩額)に転記してください。
また、当該特定費用準備資金が、公益目的事業に要する資金である場合、算出した数値を、それぞれ、別表C(1)の特定費用準備資金の公益実施費用額への算入額(19欄)及び特定費用準備資金の公益実施費用額(23欄)に算入してください。

西暦で入力し、表示が和暦になることを確認してください。
※西暦表示のままの場合、左ダブルクリック→キーボードの「Enter」キーを押すと表示が和暦に変換される場合があります。

左欄から

2. 公益目的事業全体の収支相償における特定費用準備資金の当期積立額及び取崩額の計算

【当該特定費用準備資金が、公益目的事業に係る資金である場合のみ、記入してください。】

【計画全体】(当年度までの数値を記入(将来の数値は記入不要))

年度	収支相償上の 積立限度額	収支相償上の積立額	収支相償上の 取崩限度額	収支相償上の取崩額	収支相償上の特定費用 準備資金の額(累計)
27	10,000,000 円	10,000,000 円	0 円	0 円	10,000,000 円
28	0 円	0 円	0 円	0 円	10,000,000 円
29	5,000,000 円	5,000,000 円	0 円	0 円	15,000,000 円
30	0 円	0 円	15,000,000 円	15,000,000 円	0 円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円

※2 収支相償上の積立額及び取崩額は、それぞれの限度額の範囲内で記載してください。

【当年度】(計画全体のうち、当年度分の数字を転記)

年度	収支相償上の 積立限度額	収支相償上の積立額	収支相償上の 取崩限度額	収支相償上の取崩額	収支相償上の特定費用 準備資金の額(累計)
30	0 円	0 円	15,000,000 円	15,000,000 円	0 円

収益事業等の利益の50%を公益目的事業に繰入れる場合は、算出した数値を、それぞれ、別表A(1) (収益事業等の利益額の50%を繰入れる場合)の公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する調整(10欄)に算入してください。
収益事業等の利益の50%超を公益目的事業に繰入れる場合は、算出した数値を、それぞれ、別表A(2) (収益事業等の利益額を50%を超えて繰入れる場合)の公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する調整(11欄)に算入してください。

C(2)に転記(自動作成)するための情報ですので、必要事項を記入してください。

※以下、他票への転記用データの入力箇所がありますので留意ください。

別表C(2)控除対象財産【特定費用準備資金(公益のみ)】(別表C(5)より)転記用データ
準備金額(期首)
当年度
15,000,000 円

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
事業年度	A00500	既存データ流用の際、西暦となっており、日付として認識されていない。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

35. オフライン様式に記入する(26)

別紙4 別表C(5)特定費用準備資金【公益以外】※

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」とは別のファイル。

C2-1レイアウトC(5)収益.xlsx)

該当がある場合、
必要な数だけ別
ファイルを作成
してください。

西暦で入力し、表示が和暦になることを確認してください。
※西暦表示のままの場合、左ダブルクリックキーボードの
「Enter」キーを押すと表示が和暦に変換される場合があります。

No.	1
-----	---

事業 年度	自	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト行政庁協会 A

別表C(5) 特定費用準備資金

別表C(2) 控除対象財産における4. 特定費用準備資金の明細となるほか、別表B(5) 公益目的事業比率算定に係る計算表における特定費用準備資金当期積立額及び取崩額の算出に用います。

事業 番号	特 他 管	活動の名称	〇〇〇〇
当該活動の内容		〇〇〇〇	
計画期間(事業年度)	平成 27 年度 ~ 平成 30 年度 (4 年間)		
当該活動の実施予定時期	平成30年8月1日		
積立限度額の算定方法	〇〇〇		
当該事業年度の目的外取崩 (当該事業年度に取崩しを 行った場合のみ)	なし		

右欄へ

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
事業年度	A00500	既存データ流用の際、西暦となっており、日付として認識されていない。

左欄から

1. 控除対象財産における特定費用準備資金並びに公益目的事業比率における当期積立額及び取崩額の計算

【計画全体】(経過年度は実測値を記載)

年度	利益の 繰入割合	積立額	取崩額	特定費用準備資金の額 (累計)	積立限度額
27	50%	10,000,000 円	0 円	10,000,000 円	10,000,000 円
28	50%	0 円	0 円	10,000,000 円	10,000,000 円
29	50%	5,000,000 円	0 円	15,000,000 円	15,000,000 円
30	50%	0 円	15,000,000 円	0 円	0 円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円

※1 当該年度の収益事業等の利益の繰入割合を選択してください。(将来の年度は、記載不要です。)

【当年度】(計画全体のうち、当年度分の数字を転記)

年度	積立額	取崩額	特定費用準備資金の額 (累計)	積立限度額
30	0 円	15,000,000 円	0 円	0 円

算出した数値を、各事業別に、それぞれ、別表B(5) V (特定費用準備資金当期積立額)及び別表B(5) VI (特定費用準備資金当期取崩額)に転記してください。

※以下、他表への転記用データの入力箇所がありますので御注意ください。

別表C(2) 控除対象財産「4. 特定費用準備資金(公益以外)(別表C(5)より)」転記用データ

帳簿簿価(期首)	
当年度	15,000,000 円

C(2)に転記(自動作成)する
ための情報ですので、
必要事項を記入してくだ
さい。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

36. オフライン様式に記入する (27)

別紙4 別表D 他の団体の意思決定に関与することができる財産保有の有無

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「D」)

別紙4 別表E 情報開示の適正性

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「E」)

別表D (シート「D」)

別表D

事業 年度	自	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト行政庁協会 A

他の団体の意思決定に関与することができる財産保有の有無

他の団体の意思決定に関与することができる株式その他の認定法施行規則第4条で定める財産について、保有の有無、保有している場合には、その内容を記載してください。

保有の有無			
他の団体の 関与することがある	保有している	当該他の団体の主な業務の内容	議決権の割合
他の団体の名称			5%
			5%

注 正確な数字を把握していない場合には、概数を記載してください。

●行を増やす場合
行を増やす場合は、「13. オフライン様式に
記入する(4)」の手順で実施してください。

記入する場合は、
半角数字、小数点
以下第一位まで記
入してください。

【行追加・行削除に当たってのご注意】
1. 各表の記載欄の第1行目を削除しないでください。また、第1行目をコピー元としないでください。
2. 行を追加する場合、第2行目をコピー元として、2行目以降において「コピーしたセルを挿入(Ⓔ)」を行ってください。(電子申請マニュアル1-63ページ参照)

別表E (シート「E」)

別表E

事業 年度	自	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト行政庁協会 A

情報開示の適正性

法人の体制に応じて、次の(1)から(3)までのいずれかを選択して記載してください。

(1) 公認会計士又は税理士である者が監事を務めている場合	当該監事の氏名 公認会計士・税理士の別	
(2) (1)以外の場合であって、費用及び損失の額又は収益の額が1億円未満の場合	常務又は非常務法人の経理事務に従事等した経験を有する監事の氏名 当該監事の経理事務経験について右欄に記載してください。	公認会計士 税理士
(3) (1)又は(2)以外の場合	公認会計士、税理士又はその他の経理事務の精通者による関与について説明してください。	

会計監査人による外部監査を受けている法人は、本書の記載は不要です。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	内容
—		

37. オフライン様式に記入する(28)

必須

別表F(1) 各事業に関連する費用額の配賦計算表.xlsx

旧システムと同じ様式を使用しています。
旧システムでお使いの様式（.XLS）もご利用いただけます。

【ご注意】
システムへのアップロードの際は、PDFに変換せず、**エクセルファイルのままアップロード**してください。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラーコード	内容
(異常終了)	－	PDFでアップロードした。

38. オフライン様式に記入する(29)

1

別表F(2) 各事業に関連する費用額の配賦計算表.xlsx

旧システムと同じ様式を使用しています。
旧システムでお使いの様式（.XLS）もご利用いただけます。

【ご注意】
システムへのアップロードの際は、PDFに変換せず、**エクセルファイルのままアップロード**してください。

○様式チェックNG(エラー)の例

35

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

39. オフライン様式に記入する (30)

別紙4 別表H(1) 当該事業年度末日における 公益目的取得財産残額

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「H(1)」)

必須

別表H(1) 当該事業年度末日における
公益目的取得財産残額

事業 年度	至	平成31年9月31日	法人名	公益財団法人テスト行政 庁協会A
----------	---	------------	-----	---------------------

「公益目的取得財産残額」とは、毎事業年度末における公益目的事業財産の未使用残高です。認定取消時には残高に相当する額の財産を
法で定める適格な法人のうち、定款で定める者に譲与しなければなりません。

公益目的取得財産残額は、以下の計算により算定します。

公益目的増減差額 + 公益目的保有財産 = 公益目的取得財産残額

このうち、公益目的増減差額は、公益に充てられるべき資金(流動資産)であり、以下の計算により算定します。

前事業年度末日の公益目的増減差額 + 当該事業年度に増加した公益目的事業財産 - 当該事業年度の公益目的事業費等
= 当該事業年度末日の公益目的増減差額

1. 公益目的増減差額

当該事業年度末日の公益目的増減差額(2欄+14
欄-20欄)

前事業年度の末日の公益目的増減差額

当該事業年度に増加した公益目的事業財産			
上 限 の 計 算 範 囲 (公 益 目 的 事 業 資 金 に 関 する 部 分)			
寄付を受けた財産の額	3	0	円
交付を受けた補助金等	4	0	円
公益目的事業に係る財産収入	5	0	円
収益事業等から生じた利益のうち公益目的 事業財産に繰り入れた額	6	0	円
社員が支払った経費の額 (公益社団法人のみ記入)	7	0	円
公益目的保有財産の運営費等 (5欄に記入した額を除く)	8	0	円
公益目的事業に係る引当金の取崩額	9	0	円
その他の 数値			
公益目的保有財産に係る調整額の2欄+21 欄(マイナスの場合は等)	10	0	円
合併により継承した他の公益法人の公益目 的取得財産残額	11	0	円
認定等の日前に取得した不特定特定財産 の増減差額の増加額	12	0	円
3欄+12欄の他、定款等の定めにより公益 目的事業財産となった額	13	0	円
当該事業年度に増加した公益目的事業財産の合 計額(3欄+13欄の合計)	14	0	円

2. 公益目的保有財産

当該事業年度末日における公益目的保有財産の
帳簿価額の合計額(別表D(3A))

3. 公益目的所得財産残額

当該事業年度末日における公益目的取得財産等
額(1欄+21欄)

当該事業年度の公益目的事業費等			
上 限 の 計 算 範 囲 (公 益 目 的 事 業 資 金 に 関 する 部 分)			
公益目的事業費の額 (財産の評価額等の調整後の額)	15	0	円
15欄の他、公益目的保有財産に生じた費用 及び損失の額	16	0	円
15欄、16欄の他、公益目的事業の実施に 伴って生じた経常外費用の額	17	0	円
15欄+17欄の他、他の公益法人の公益目 的事業のために寄附した財産の価額	18	0	円
その他の 数値			
公益目的保有財産に係る調整額の21欄+23 欄(マイナスの場合は等)	19	0	円
当該事業年度の公益目的事業費等の合計額(15欄 +19欄の合計)	20	0	円

【その他の数値】

前事業年度末日における公益目的保有財産の帳 簿価額の合計額	22	0	円
うち認定等の日前に取得した不特定特定財産 の帳簿価額の合計額	23	0	円

H(2)の1(2)表の合
計額が転記されま
す。

H(2)の2(2)表の合
計額、2(3)の公益
目的事業のために
使用する金額の合
計額が転記されま
す。

H(2)の3表の合計額
が転記されます。

C(2)の1表の期末価
額の合計額が転記
されます。

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
—		

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

40. オフライン様式に記入する(31)

別紙4 別表H(2) 当該事業年度末日における 公益目的取得財産残額

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「H(1)」)

必須

別表H(2) 当該事業年度中の
公益目的増減差額の明細

事業年度 平成30年4月1日 法人コード A025001
至 平成31年3月31日 法人名 公益財団法人テスト行政評価会

1. 寄附を受けた財産

(1) 寄附者により、公益目的事業以外のために使用すべき旨が定められているもの
【公益目的増減差額に加算されないもの】

名称	用途の定めの内容	金額
		円
		円
合計		0円

※ 寄附の名称ごとに寄附者による用途の内容が分かる書類(寄附規定、事業費明細等)を添付してください。

(2) (1)以外のもの
【公益目的増減差額に加算されるもの】

名称	用途の定めの内容	金額
		円
		円
合計		0円

2. 社員が支払った経費【公益社団法人のみ記載】

(1) 公益目的事業以外のために使用すべきもの
【公益目的増減差額に加算されないもの】

名称	用途の定めの内容	金額
		円
		円
合計		0円

(2) 公益目的事業のために使用すべきもの
【公益目的増減差額に加算されるもの】

名称	用途の定めの内容	金額
		円
		円
合計		0円

H(1)の7欄に合算
して転記されます。

H(1)の3欄に転記されます。

H(1)の8欄に転記
されます。

(3) 使用の定めがないもの

名称	金額	うち、公益目的事業のために 使用する金額
	円	円
	円	円
合計	0円	0円

3. 公益目的保有財産の運用益等
【公益目的増減差額に加算されるもの】

公益目的保有財産の名称	運用益等の内容	金額
		円
		円
合計		0円

4. 公益目的保有財産に生じた費用及び損失(公益目的事業費(調整後)に含まれるものを除く)
【公益目的増減差額から減算されるもの】

公益目的保有財産の名称	費用及び損失が生じた理由	金額
		円
		円
合計		0円

5. 他の公益法人の公益目的事業のために寄附した財産
【公益目的増減差額から減算されるもの】

寄附先の公益法人の名称	寄附した財産の用途(公益目的事業の内容)	金額
		円
		円
合計		0円

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
—		

●行を増やす場合
行を増やす場合は、「13.オフライン様式に
記入する(4)」の手順で実施してください。

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

41. オフライン様式に記入する(32)

参考 監督上の処分等の一覧

(「C2-1レイアウト(本編).xlsx」中のシート「参考」)

※

【参考資料: 監督上の処分等の一覧】

事業 年度	自	平成30年4月1日	法人コード	A025001
	至	平成31年3月31日	法人名	公益財団法人テスト行政庁 協会 A

1. 行政庁から受けた監督上の処分又は指導の一覧

処分又は 指導の日付	監督上の処分又は指導の内容	法人における対応状況

注 当事業年度に行政庁から受けた勧告、命令及び指導(書面によるものに限る。)を記載してください。
また、当事業年度以前に受けたものでまだ改善がなされていないものも記載してください。

2. 行政機関から受けた指導等の一覧

指導等の日付	指導等の内容	法人における対応状況

注 当事業年度に、法令又は法令に基づき行政機関の処分違反として行政機関から受けた指導、命令等(書面によるものに限る。)を記載してください。また、当事業年度以前に受けたもので、まだ改善がなされていないものも記載してください。

●行を増やす場合
行を増やす場合は、「13. オフライン様式に
記入する(4)」の手順で実施してください。

【行追加・行削除に当たっての注意】
1.各表の記載欄の第1行目を削除しないでください。また、第1行目をコピー元としないでください。
2.行を追加する場合、第2行目をコピー元として、2行目以降において「コピーしたセルを挿入(E)」を行ってください。(電子申請マニュアル1-63ページ参照)
(以下2表で同じ。)

○様式チェックNG(エラー)の例

事項	エラー コード	内容
—		

C2-1 事業報告等の提出

お手元
のPC

42. オフライン様式の記入（修正）を保存する

【操作】 エクセルの上部メニューの「ファイル」をクリックし「情報」画面を表示し、「上書き保存」か「名前を付けて保存」をクリックして保存してください。



電子申請
システム

43. オフライン様式をアップロードする(1)

【操作】 「ホーム」画面の「状況照会（提出前）」にリストアップされている「事業報告等の提出」をクリックして「案件詳細」画面に移行します。

国・都道府県公式公益法人行政総合情報サイト
公益法人 i nformation

文字サイズの変更 標準 大 特大 ログアウト S001

ホーム 申請・届出を行う 過去の申請を見る 電子申請マニュアル

法人名 : 公益財団法人テスト行政庁協会 A
法人コード : A0250001
最終ログイン日時 : 平成31年04月19日 16:47:57

法人情報を変更する 代理人を追加・編集する

重要なお知らせ

平成31年04月17日 [新元号への対応につきまして](#)

平成31年03月19日 [「Internet Explorer11」「Google Chrome」で御利用ください。](#)

平成31年03月19日 [新システム利用の留意点について（「内閣府公益法人メールマガジン」の第45号内）](#)

平成31年03月12日 [公益法人用（簡易マニュアル）C1-1「事業計画書等の提出」を掲載しました。](#)

状況照会（提出前） 状況を更新

手続No.	手続名称	手続作成 開始日時	様式チェック 最終日時	削除
B4-1	変更の届出	平成31年04月19日 15:30:33		削除
C1-1	事業計画書等の提出	平成31年04月19日 14:58:21		削除
B4-1	変更の届出	平成31年04月19日 13:28:15		削除
B18-1	公益法人の解散の届出	平成31年04月19日 12:41:08		削除
B4-1	変更の届出	平成31年04月18日 17:15:34		削除
B4-1	変更の届出	平成31年04月18日 14:57:01		削除
B2-1	変更認定後の主款及び登記事項証明書の提出	平成31年04月18日 11:14:10		削除
C2-1	事業報告等の提出	平成31年04月18日 10:48:03		削除

44. オフライン様式をアップロードする(2)

✓ 様式チェックを依頼する

45. オフライン様式をアップロードする(3)

書類名	ファイル名	別送
オフライン様式（本編）	参照...	音 用紙
別紙3 2.（1）公益目的事業について（Word）	参照...	音 用紙 + 追加
別紙3 2.（1）公益目的事業について（Excel）	参照...	音 用紙 + 追加
別紙3 2.（2）収益事業について（Word）	参照...	音 用紙 + 追加
別紙3 2.（3）その他の事業（相互扶助等事業）について（Word）	参照...	音 用紙 + 追加
別紙4 別表B（2）土地の使用に係る費用額の算定	参照...	音 用紙 + 追加
別紙4 別表B（3）融資に係る費用額の算定	参照...	音 用紙 + 追加
別紙4 別表B（4）無償の役務の提供等に係る費用額の算定	参照...	音 用紙 + 追加
別紙4 別表C（3）公益目的保有財産配賦計算表	参照...	音 用紙 + 追加
別紙4 別表C（4）資産取得資金（公益目的事業）	参照...	音 用紙 + 追加
別紙4 別表C（4）資産取得資金（収益事業、その他の事業、法人の管理運営）	参照...	音 用紙 + 追加
別紙4 別表C（5）特定費用準備資金（公益目的事業）	参照...	音 用紙 + 追加
別紙4 別表C（5）特定費用準備資金（収益事業、その他の事業、法人の管理運営）	参照...	音 用紙 + 追加
別紙4 別表F（1）各事業に関連する費用額の配賦計算表（役員報酬・給料手当以外の経費）	参照...	音 用紙 + 追加
別紙4 別表F（2）各事業に関連する費用額の配賦計算表（役員報酬・給料手当以外の経費）	参照...	音 用紙 + 追加

C2-1 事業報告等の提出

電子申請
システム

46. オフライン様式をアップロードする(4)

【操作】アップロードするファイルを選択するウィンドウが開きますので、C2-1レイアウト(本編) (エクセルファイル) を選択して、「開く(O)」をクリックしてください。



【確認】C2-1レイアウト(本編) (エクセルファイル) がアップロードされます。

◎ オフライン様式

書類名	ファイル名	別送	
オフライン様式(本編)	C2-1レイアウト(本編)_00_V01R46.xlsx	参照...	参照...

電子申請
システム

47. オフライン様式をアップロードする(5)

【操作】同様に、他のファイルもアップロードします。欄が足りない場合は、右の「追加」を押して欄を増やします。間違ったファイルをアップロードした場合は「削除」で削除できます。

申請書類もくじ(新規申請)

書類名に該当するファイルを設定し、保存する場合は、「申請書類を保存する」ボタンを押してください。
様式チェックを行う場合は、「様式チェックを依頼する」ボタンを押してください。
書類を別送で送付する場合は、「別送」にチェックをしてください。

「様式チェックを依頼する」ボタンを押した場合でも設定したファイルは保存されます。

手続No.: C2-1
手続名称: 事業報告等の提出

◎ オフライン様式

書類名	ファイル名	別送	
オフライン様式(本編)	C2-1レイアウト(本編)_00_V01R46.xlsx	参照...	参照...
別紙3 2.(1) 公益目的事業について(Word)	C2-1レイアウト_3-2(1)_V01R01.docx	参照...	参照...
別紙3 2.(1) 公益目的事業について(Excel)	C2-1レイアウト_01_3-2(1)_V01R01.xlsx	参照...	参照...
別紙3 2.(2) 収益事業について(Word)		参照...	参照...
別紙3 2.(3) その他の事業(相互扶助等事業)について(Word)		参照...	参照...
別紙4 別表B(2) 土地の使用に係る費用額の算定		参照...	参照...
別紙4 別表B(3) 融資に係る費用額の算定		参照...	参照...
別紙4 別表B(4) 無償の役務の提供等に係る費用額の算定		参照...	参照...
別紙4 別表C(3) 公益目的保有財産配賦計算表	別表C(3).xls	参照...	参照...
別紙4 別表C(4) 資産取得資金(公益目的事業)		参照...	参照...
別紙4 別表C(4) 資産取得資金(収益事業、その他の事業、法人の管理運営)		参照...	参照...
別紙4 別表C(5) 特定費用準備資金(公益目的事業)		参照...	参照...
別紙4 別表C(5) 特定費用準備資金(収益事業、その他の事業、法人の管理運営)		参照...	参照...
別紙4 別表F(1) 各事業に関連する費用額の配賦計算表(役員報酬・給料手当)	別表F(1).xls	参照...	参照...
別紙4 別表F(2) 各事業に関連する費用額の配賦計算表(役員報酬・給料手当以外の経費)	別表F(2).xls	参照...	参照...

C2-1 事業報告等の提出

電子申請
システム

48. オフライン様式をアップロードする(6)

【操作】添付書類も同様にアップロードしてください。

＜ご参考＞添付書類のデータ形式に制限はありません。PDFでも結構です。

④ 様式・添付書類

書類名	ファイル名	別送		
財産目録	財産目録.PDF	参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類	役員報酬等決定.PDF	参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
社員名簿（公益社団法人のみ）		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
社員名簿（住所を除く簡略版）（公益社団法人のみ）		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
貸借対照表及びその附属明細書	貸借対照表.PDF	参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
損益計算書及びその附属明細書	正統財産損益計算書.PDF	参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
事業報告及びその附属明細書	事業報告書.XLS	参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
監査報告（及び会計監査報告）	監査報告.PDF	参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
キャッシュ・フロー計算書（作成している場合又は会計監査人を設置しなければならない場合に際する。）		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
移行時の公益目的取得財産額（特例民法法人から移行した公益法人の最初の事業報告の際のみ）		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
移行の登記の日の前日の財産目録（特例民法法人から移行した公益法人の最初の事業年度の事業報告の際のみ）		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書	納税証明.PDF	参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書	納税証明.PDF	参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
許可可等を証する書類 ※許可可等が必要な場合のみ		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
事業・組織体系図		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
社員の資格の得喪に関する細則		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
会員等の位置づけ及び会費に関する細則		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
寄附の用途の特定の内容がわかる書類（公益目的事業以外に用途を特定した寄附がある場合のみ）		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加
行政庁が公益法人の事業の適正な運営を確保するために必要と認める書類		参照...	<input type="checkbox"/>	参照... + 追加

前画面に戻る 申請書類を保存する 様式チェックを依頼する

電子申請
システム

49. 様式チェックを依頼する(1)

【操作】「申請書類もくじ（新規申請）」画面の右下の「様式チェックを依頼する」をクリックします。「様式チェックをする申請書類の確認」画面に移行しますので、「様式チェックを行う」を押します。

申請書類もくじ（新規申請）

書類名に該当するファイルを設定し、保存する場合は、「申請書類を保存する」ボタンを押してください。
様式チェックを行う場合は、「様式チェックを依頼する」ボタンを押してください。
書類を別送で送付する場合は、「別送」にチェックをしてください。

「様式チェックを依頼する」ボタンを押した場合でも設定したファイルは保存されます。

手続No.: C2-1
手続名称: 事業報告等の提出

④ オフライン様式

書類名	ファイル名	別送		

前画面に戻る 申請書類を保存する 様式チェックを依頼する

様式チェックをする申請情報の確認

申請書類の様式チェックを行う準備ができました。
「様式チェックを行う」ボタンで申請書類の様式チェックを行ってください。
ファイル名をクリックすると前画面で設定した書類を確認することができます。

「様式チェックを行う」ボタンを押すと、設定した書類が保存されます。

手続No.	手続名称	種別	書類名	別送	ファイル名
C2-1	事業報告等の提出	オフライン様式	オフライン様式（本編）		C2-1レイアウト(本編) _01_V01R36.xlsx
			別紙3 2. (1) 公益 目的事業について (Word)		C2-1レイアウト_3-2(1) _V01R03.docx
			別紙3 2. (1) 公益 目的事業について (Excel)		C2-1レイアウト_01_3-2(1) _V01R06.xlsx
			別紙4 別表C (3) 公 益目的保有財産配賦計算表		別表C(3).xls
			別紙4 別表F (1) 各 事業に関連する費用額の配 賦計算表（役員報酬・給料 手当）		別表F(1).xls
			別紙4 別表F (2) 各 事業に関連する費用額の配 賦計算表（役員報酬・給料 手当以外の経費）		別表F(2).xls

前画面へ戻る 様式チェックを行う

C2-1 事業報告等の提出

電子申請
システム

50. 様式チェックを依頼する(2)

【操作】システム側で様式チェックを開始するメッセージが現れます。
「案件詳細画面に戻る」をクリックして、「案件詳細」画面に戻ります。



【確認】「案件詳細」画面の「様式チェック状況」欄のコメントが「様式チェック依頼あり」になっています。

案件詳細

申請案件の状況を確認します。
データ流用を行う場合は、「既存データを流用」ボタンより行ってください。▶ [操作説明](#)
オフライン様式をダウンロードするには、「オフライン様式をダウンロード」ボタンより行ってください。

整理番号	
手続No.	C2-1
手続名称	事業報告等の提出
提出先行政庁	内閣府（テスト行政庁）

現在の処理状況は、書類作成中（様式チェック中）です。

処理状況（日時）	1 書類作成中 4/26 14:04月16日 14:58:02	2 到達	3 審査中	4 完了
様式チェック状況	様式チェック依頼あり			

電子申請
システム

51. 様式チェックを依頼する(3)

【操作】様式チェックは、1分～数分で終わる見込みです。
コメントは自動に変わりませんので、いったん「ホーム」画面に移行して「状況を更新」ボタンをクリックしてください。

【確認】様式チェックが終わり、エラー（NG）がない場合には、「様式チェック状況」欄に「様式チェック済（NGなし）」と表示されます。
右下に「提出内容を確認」が出現します。

※（NGあり）となった場合、「様式チェック状況」に表示されるcsvファイル等を参考に確認し、再度43（アップロード）からの操作をしてください。

案件詳細

申請案件の状況を確認します。
データ流用を行う場合は、「既存データを流用」ボタンより行ってください。▶ [操作説明](#)
オフライン様式をダウンロードするには、「オフライン様式をダウンロード」ボタンより行ってください。
書類の保存もしくは様式チェックを行う場合は、「書類を準備する」ボタンより行ってください。
保存した書類の様式をチェックする場合は、「様式チェックを依頼する」ボタンより行ってください。

整理番号	
手続No.	C2-1
手続名称	事業報告等の提出
提出先行政庁	内閣府（テスト行政庁）

現在の処理状況は、書類作成中（様式チェック済）です。

処理状況（日時）	1 書類作成中 4/26 14:04月16日 14:58:02	2 到達	3 審査中	4 完了
様式チェック状況	様式チェック済（NGなし）			
既存データ流用	20190419174904_オフライン様式.zip			
一括PDF作成	▶ 操作説明 作成する場合は「申請書類一式をPDFで出力」ボタンを押してください。▶ 申請書類一式をPDFで出力			

＜ご参考＞「一括PDF」で提出前の書類の確認・印刷・保存ができます。
様式チェック済（NGなし）となった時点で自動作成される様式・箇所についても、この段階で御確認ください。



C2-1 事業報告等の提出

電子申請
システム

52. 申請書類を提出する(1)

【操作】「案件詳細」画面の右下の「提出内容を確認」をクリックすると、「提出する申請情報の確認」画面に移行します。
内容を確認した後、右下の「申請書類を提出」をクリックすると、行政庁に書類を提出します。

＜ご注意＞「必須」の書類が不足していると提出できません。

提出する申請情報の確認

申請情報を提出します。
下線のある書類名を押すと、資料をダウンロードできます。
修正する場合は、画面下部にある「前画面に戻る」ボタンを押して、修正を行ってください。

手続名	種別	書類名	別送	ファイル名
事業報告等の提出	オフライン様式	オフライン様式（本編）		C2-1レイアウト(本編) 00_V01R36.xlsx
		別紙3 2. (1) 公益目的事業について (Word)		C2-1レイアウト 3-2(1)_V01R03.docx
		別紙3 2. (1) 公益目的事業について (Excel)		C2-1レイアウト 01_3-2(1)_V01R06.xlsx
		別紙4 別表C (3) 公益目的保有財産配賦計算表		別表C(3).XLS
		別紙4 別表F (1) 各事業に関連する費用額の配賦計算表（役員報酬・給料手当）		別表F(1).XLS
		別紙4 別表F (2) 各事業に関連する費用額の配賦計算表（役員報酬・給料手当以外の経費）		別表F(2).XLS
	添付書類	財産目録	<input type="checkbox"/>	財産目録.PDF
		理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類	<input type="checkbox"/>	役員報酬等規定.PDF
		貸借対照表及びその附属明細書	<input type="checkbox"/>	貸借対照表.PDF
		損益計算書及びその附属明細書	<input type="checkbox"/>	正味財産増減計算書.PDF
		事業報告及びその附属明細書	<input type="checkbox"/>	事業報告書.XLS
		監査報告（及び会計監査報告）	<input type="checkbox"/>	監査報告.PDF
		滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書	<input type="checkbox"/>	納税)市納税証明書.PDF
			<input type="checkbox"/>	納税)県納税証明書.PDF
			<input type="checkbox"/>	納税)国納税証明書.PDF

前画面に戻る

申請書類を提出

電子申請
システム

53. 申請書類を提出する(2)

【操作】申請書類の提出が完了した旨のメッセージが表示されます。「案件詳細画面に戻る」をクリックし「案件詳細」画面に戻ってください。

提出する申請情報の確認

申請情報を提出します。
下線のある書類名を押すと、資料をダウンロードできます。
修正する場合は、画面下部にある「前画面に戻る」ボタンを押して、修正を行ってください。

手続名	種別	書類名	別送	ファイル名
事業報告等の提出	オフライン様式	オフライン様式（本編）		C2-1レイアウト 00_V01R36.xlsx
		別紙3 2. (1) 公益目的事業について (Word)		C2-1レイアウト V01R03.docx
		別紙3 2. (1) 公益目的事業について (Excel)		C2-1レイアウト V01R06.xlsx
		別紙4 別表C (3) 公益目的保有財産配賦計算表		別表C(3).XLS

申請書類の提出が完了しました。
別送がある場合は、案件詳細画面より、送付票をダウンロードし併せて、提出してください。

[案件詳細画面へ戻る](#)

C2-1 事業報告等の提出

電子申請
システム

54. 申請書類を提出する(3)

【操作】「案件詳細」画面の右下の「履歴一覧」をクリックすると、「履歴一覧」画面に移行します。

案件詳細

申請案件の状況を確認します。

整理番号	
手続No.	C2-1
手続名称	事業報告等の提出
提出先行政庁	内閣府（テスト行政庁）

現在の処理状況は、書類作成中（様式チェック済）です。

処理状況（日時）	1 書類作成中 平成31年04月16日 14:58:02	2 到達	3 審査中	4 完了
----------	---------------------------------	------	-------	------

様式チェック状況	様式チェック済（NGなし）
一括PDF作成 操作説明	作成する場合は「申請書類一式をPDFで出力」ボタンを押してください。 申請書類一式をPDFで出力
申請書類	<p>オフライン様式（本編）</p> <p>財産目録 C2-1レイアウト(本編) 00_V01R36.xlsx</p> <p>理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類 財産目録.PDF</p> <p>貸借対照表及びその附属明細書 役員報酬等規定.PDF</p> <p>損益計算書及びその附属明細書 貸借対照表.PDF</p> <p>事業報告及びその附属明細書 正味財産増減計算書.PDF</p> <p>監査報告（及び会計監査報告） 事業報告書.XLS</p> <p>別紙3 2.（1）公益目的事業について（Word） 監査報告.PDF</p> <p>別紙3 2.（1）公益目的事業について（Excel） C2-1レイアウト 3-2(1)_V01R03.docx</p> <p>別紙4 別表C（3）公益目的保有財産配賦計算表 C2-1レイアウト 01_3-2(1)_V01R06.xlsx</p> <p>別紙4 別表F（1）各事業に関連する費用額の配賦計算表（役員報酬・給料手当） 別表C(3).XLS</p> <p>別紙4 別表F（2）各事業に関連する費用額の配賦計算表（役員報酬・給料手当以外の経費） 別表F(1).XLS</p> <p>滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書 別表F(2).XLS</p> <p>滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書 納税) 市納税証明書.PDF</p> <p>滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書 納税) 県納税証明書.PDF</p> <p>滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書 納税) 国納税証明書.PDF</p>

[前画面に戻る](#)

[履歴を表示](#)

電子申請
システム

55. 申請書類を提出する(4)

【確認】「履歴一覧」で、書類が提出されたことを確認してください。

＜ご参考＞「ホーム」画面においても、本件が手続リスト「状況照会（提出後）」に移動します。

履歴一覧

本手続の履歴一覧となります。

日時	処理者	履歴情報
平成31年04月16日 14:58:02	公益財団法人テスト行政庁協会 A	書類作成
平成31年04月19日 17:45:28	公益財団法人テスト行政庁協会 A	申請書類ダウンロード（既存データ流用）
平成31年04月19日 18:23:02	公益財団法人テスト行政庁協会 A	様式チェック依頼
平成31年04月19日 18:24:54	SYSTEM	様式チェック実施
平成31年04月19日 18:49:55	公益財団法人テスト行政庁協会 A	申請書類の提出

[前画面に戻る](#)

＜以上で申請書類提出が終了しました。
適宜ログアウトしてください。＞